# 魅力あるまちづくりに関する
# 市民アンケート

# 報　告　書

令和８年８月

木 更 津 市

# 目　次

Ⅰ．調査の概要
１．調査の目的 …… 1
２．調査項目 …… 1
３．調査方法 …… 1
４．この報告書の見方 …… 1

Ⅱ．調査の結果
１．回答者の属性…… 3

２．木更津市へのイメージについて
（１）木更津市への愛着や誇り …… 6
（２）木更津市の愛着や誇りを感じるもの …… 9
（３）木更津市の住みごこち …… 11
（４）住んでいて良いところ …… 12
（５）住んでいて良くないところ …… 13
（６）定住意向 …… 14

３．木更津市の取り組みについて
（１）「オーガニックなまちづくり」の認知度 …… 15
（２）市民活動の参加状況 …… 19
（３）運動・スポーツの参加状況 …… 22
（４）キャッシュレス決済の普及度 …… 24
（５）デジタル化に期待する取組 …… 25

４．行政サービスに関する満足度、今後の優先度について
（１）行政サービスに関する現在の満足度と今後の優先度…… 26
（２）現在の満足度と今後の優先度の加重平均による分析…… 29
（３）現在の満足度と今後の優先度の相関 …… 32

５．木更津市の情報について
（１）情報の入手方法 …… 33
（２）木更津市に関する情報発信をより充実してほしい媒体…… 40
（３）木更津市に関する情報でより充実してほしい内容…… 42

Ⅲ．調査結果の概要と考察 …… 44

# Ⅰ．調査の概要

## １．調査の目的

この調査は、木更津市民を対象に、木更津市のイメージ、これまでの市の取り組みに対する満足度や今後の優先度などを把握し、市政に反映させることを目的とする。

## ２．調査項目

（１）木更津市へのイメージについて
（２）木更津市の取組について
（３）行政サービスに関する満足度、今後の優先度について
（４）木更津市の情報について
（５）回答者の属性

## ３．調査方法

（１）調 査 対 象　　木更津市に居住する満18歳以上の市民
（２）抽 出 方 法　　住民基本台帳に基づく無作為抽出
（３）標　本　数　　2,000人
（４）有 効 回 収 数　　899人（うちweb回答358人）（有効回収率　45.0%）
（５）調 査 方 法　　郵送配布、郵送及びWeb回答による回収
（６）調 査 期 間　　令和７年９月１日（月）～９月30日（火）

## ４．この報告書の見方

（１）図表中の「ｎ」は、質問に対する回答者数を示す。
（２）回答の比率（%）は、ｎを基数として算出し、小数点以下第２位を四捨五入して算出した。このため、すべての選択肢の比率の合計が100.0%にならない場合がある。
（３）複数回答の設問では、すべての選択肢の比率の合計が100%を上回る場合がある。
（４）図表作成の便宜上、一部の選択肢を省略して表記している場合がある。
（５）年齢別、職業別などのクロス集計では、ｎが小さい場合は統計的誤差が生じる可能性が高いので注意が必要である。特にｎが30未満である層については、他の層と比べて顕著な傾向の違いがある場合でも、説明の文章ではふれていない。
（６）年齢別、職業別などのクロス集計では、年齢や職業などの分析項目となる質問に無回答であった層の結果を表示していない。したがって、すべての層の回答者数（ｎ）の合計は、全体の回答者数（ｎ）と一致しない場合がある。

（７）質問によっては、令和３年12月及び令和６年９月に今回調査と同じ調査方法で実施した「まちづくりに関する市民アンケート調査」の結果との比較を行った。

（８）この調査の標本誤差は次の式によって得られる。ただし、信頼度を95％とする。

$$b = 2\sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

（b＝標本誤差　　N＝母集団数
P＝回答比率　　n＝比率算出の基数（サンプル数））

上記の計算式に基づく標本誤差の早見表は以下のとおりである。

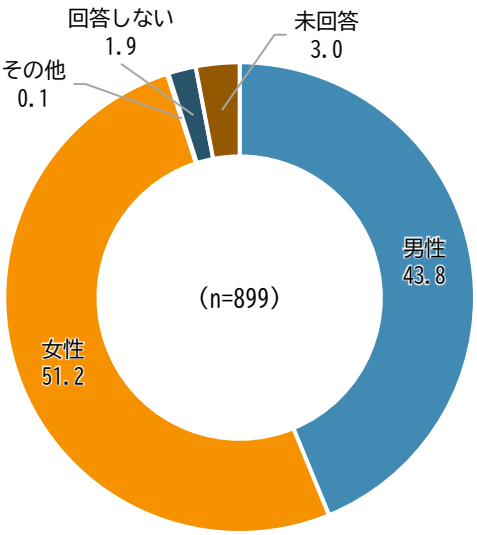
| 回答比率(P) ／ 基数(n) | 10%または90%前後 | 20%または80%前後 | 30%または70%前後 | 40%または60%前後 | 50%前後 |
|---|---|---|---|---|---|
| 899人 | ±2.00% | ±2.67% | ±3.06% | ±3.27% | ±3.34% |
| 700 | ±2.27% | ±3.02% | ±3.46% | ±3.70% | ±3.78% |
| 500 | ±2.68% | ±3.58% | ±4.10% | ±4.38% | ±4.47% |
| 300 | ±3.46% | ±4.62% | ±5.29% | ±5.66% | ±5.77% |
| 200 | ±4.24% | ±5.66% | ±6.48% | ±6.93% | ±7.07% |
| 100 | ±6.00% | ±8.00% | ±9.17% | ±9.80% | ±10.00% |

※上表は $\frac{N-n}{N-1} \fallingdotseq 1$ として算出している。

# Ⅱ．調査の結果

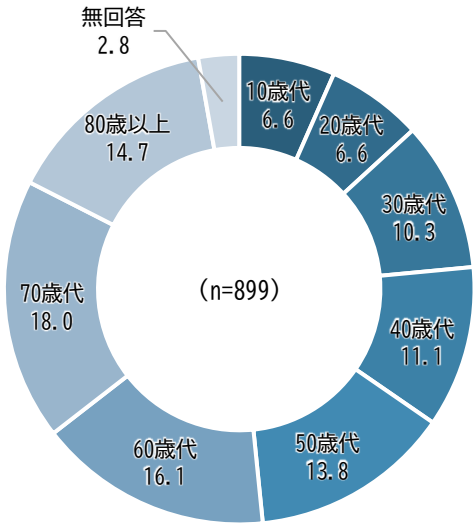
## １．回答者の属性

### （１）性別



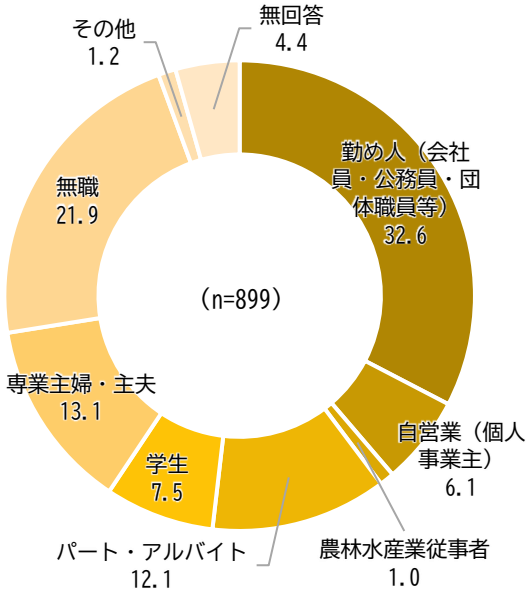

性別は、男性が43.8%、女性が51.2%となっている。

### （２）年齢



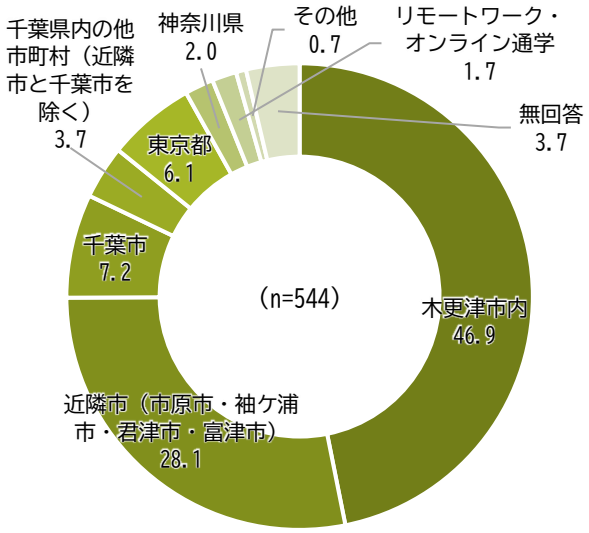

年齢は、70歳代が18.0%で最も高く、次いで60歳代が16.1%、80歳以上が14.7%、50歳代が13.8%の順となっている。

### （３）職業



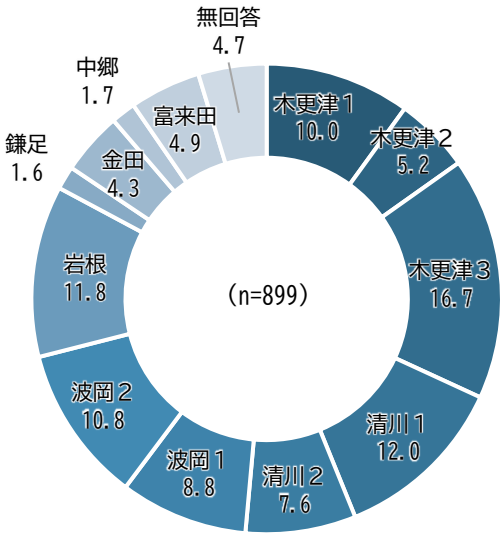

職業は、勤め人が32.6%で最も高く、次いで無職が21.9%、専業主婦・主夫が13.1%、パート・アルバイトが12.1%の順となっている。

### （４）通勤・通学先




（３）職業で専業主婦・主夫または無職以外と回答した方の通勤・通学先は、木更津市内が46.9%で最も高く、次いで近隣市（市原市、袖ケ浦市、君津市、富津市）が28.1%、千葉市が7.2%の順となっている。

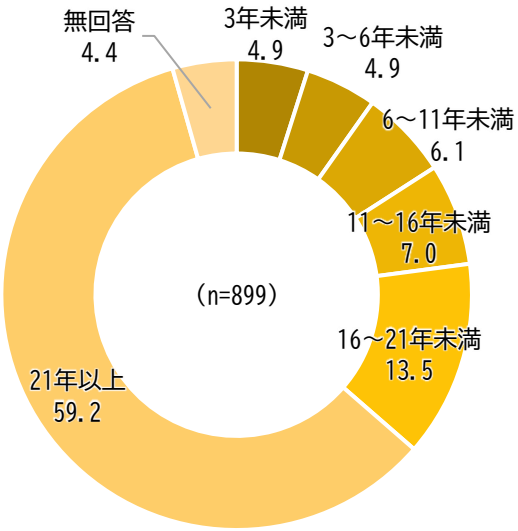
## （５）居住地区




| 地区名 | 該当する町名 |
|---|---|
| 木更津１ | 新田、富士見、中央、新宿、吾妻、朝日、木更津、東中央、大和 |
| 木更津２ | 文京、貝渕、潮見、幸町、桜町、桜井、桜井新町、潮浜、木材港 |
| 木更津３ | 請西、請西東、請西南、真舟、千束台、太田、東太田 |
| 清　川１ | 長須賀、永井作、清見台、清見台東、清見台南、祇園 |
| 清　川２ | 菅生、清川、椿、笹子、日の出町、犬成、中尾、伊豆島、ほたる野 |
| 波　岡１ | 畑沢、畑沢南、港南台、小浜 |
| 波　岡２ | 大久保、上烏田、中烏田、下烏田、八幡台、羽鳥野 |
| 岩　根 | 岩根、西岩根、高砂、本郷、高柳、若葉町、万石、久津間、江川、中里 |
| 鎌　足 | 矢那、草敷、かずさ鎌足 |
| 金　田 | 中島、瓜倉、畔戸、牛込、中野、北浜町、金田東 |
| 中　郷 | 上望陀、下望陀、有吉、大寺、十日市場、井尻、曽根、牛袋野、牛袋 |
| 富来田 | 大稲、真里、下内橋、戸国、茅野、茅野七曲、山本七曲、真里谷、田川、佐野、下郡、根岸、上根岸、下宮田 |

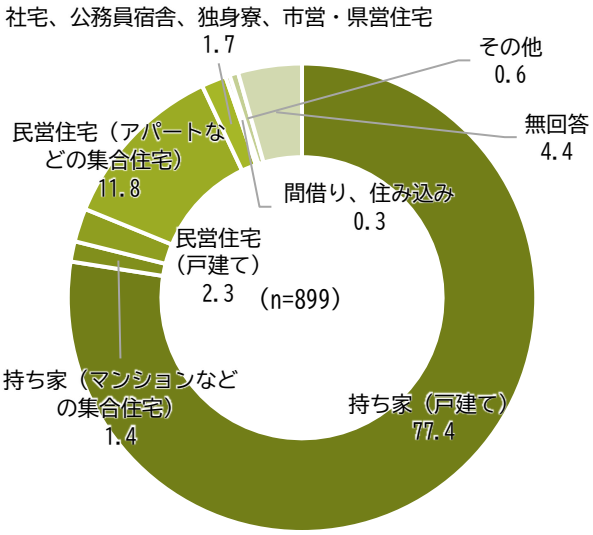
居住地区は、木更津３地区が16.7%で最も高く、次いで清川１地区が12.0%、岩根地区が11.8%の順となっている。

## （６）居住期間



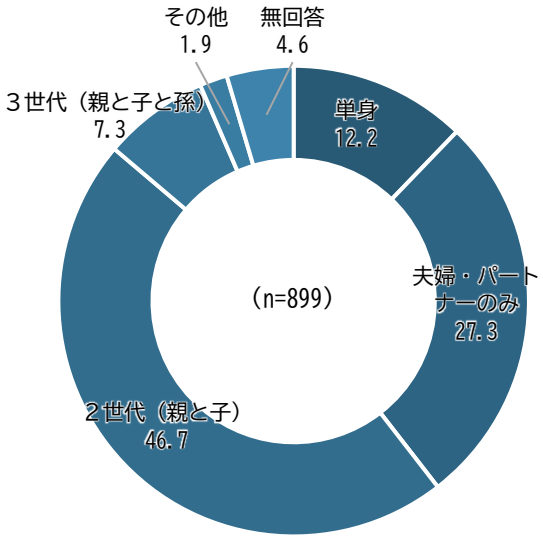

居住期間は、21年以上が59.2%で最も高く、次いで16～21年未満が13.5%、11～16年未満が7.0%、次いで６～11年未満年が6.1%の順となっている。

## （７）居住形態




居住形態は、持ち家（戸建て）が77.4%で最も高く、次いで民営住宅（アパートなどの集合住宅）が11.8%の順となっている。

## （８）家族構成

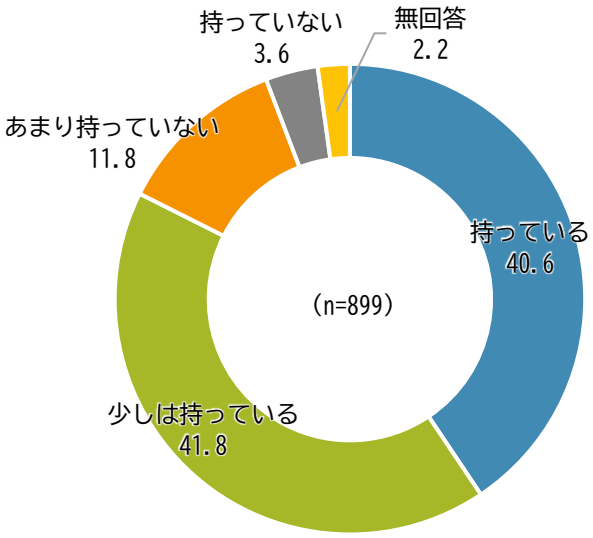



家族構成は、２世代（親と子）が46.7%で最も高く、次いで夫婦・パートナーのみが27.3%、単身が12.2%、３世代（親と子と孫）が7.3%の順となっている。

## 2．木更津市へのイメージについて

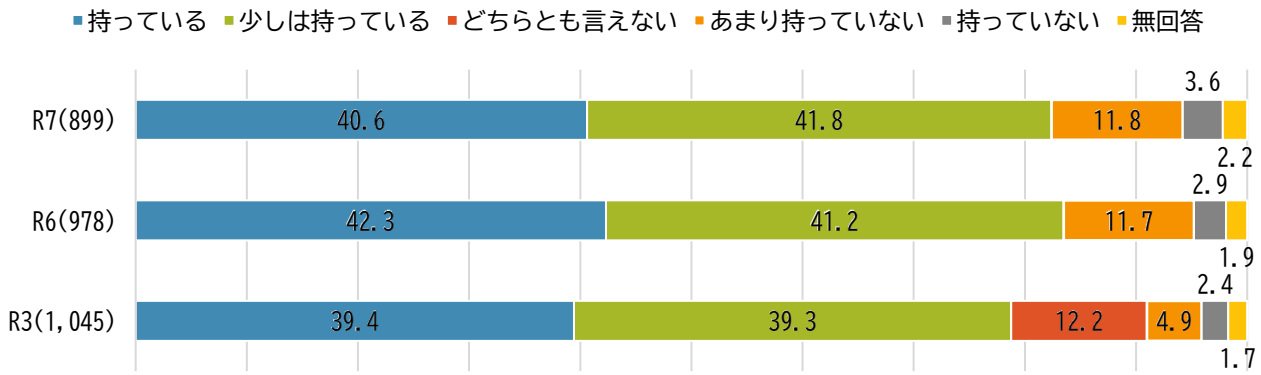
### （1）木更津市への愛着や誇り

問1．あなたは、木更津市に対して愛着や誇りを持っていますか。（✔は1つだけ）




木更津市への愛着や誇りについては、「持っている」（40.6%）と「少しは持っている」（41.8%）を合わせた『持っている（計）』が82.4%と高くなっている。「あまり持っていない」（11.8%）と「持っていない」（3.6%）を合わせた『持っていない（計）』は15.4%となっている。

［過去調査との比較］

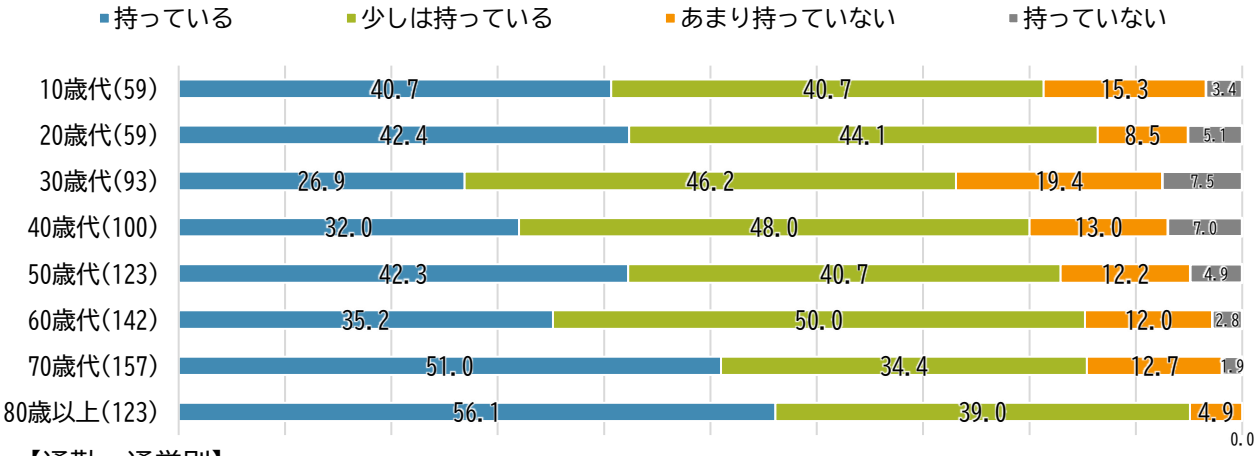



（※）どちらとも言えない」は今回調査（Ｒ６）から削除した。

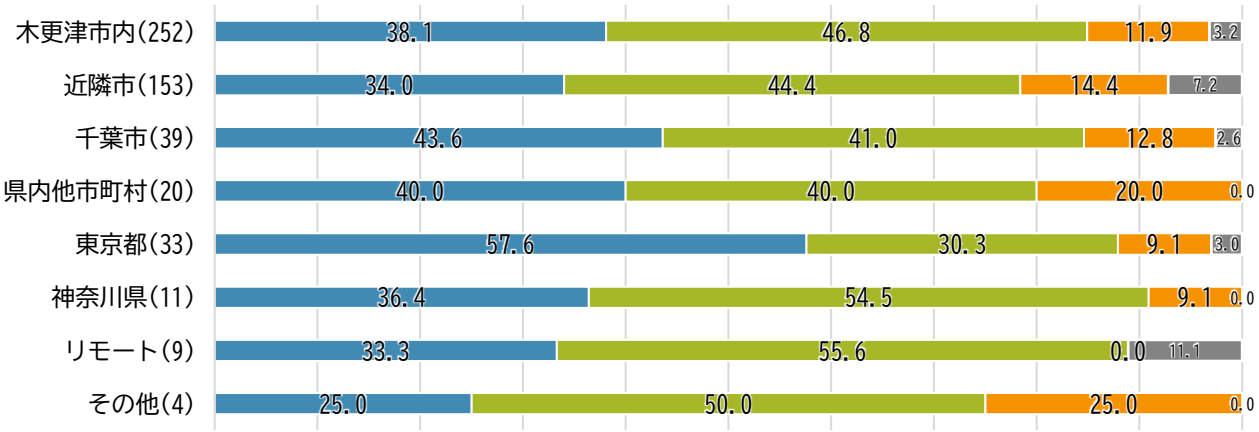
過去調査との比較は、一部の選択肢が変更されているため参考にとどまるが、「持っている」と「少しは持っている」を合わせた『持っている（計）』が83.5%（Ｒ６）から82.4%（Ｒ７）と1.1ポイント減少している。

［年齢別、通勤・通学先別、居住地区別］

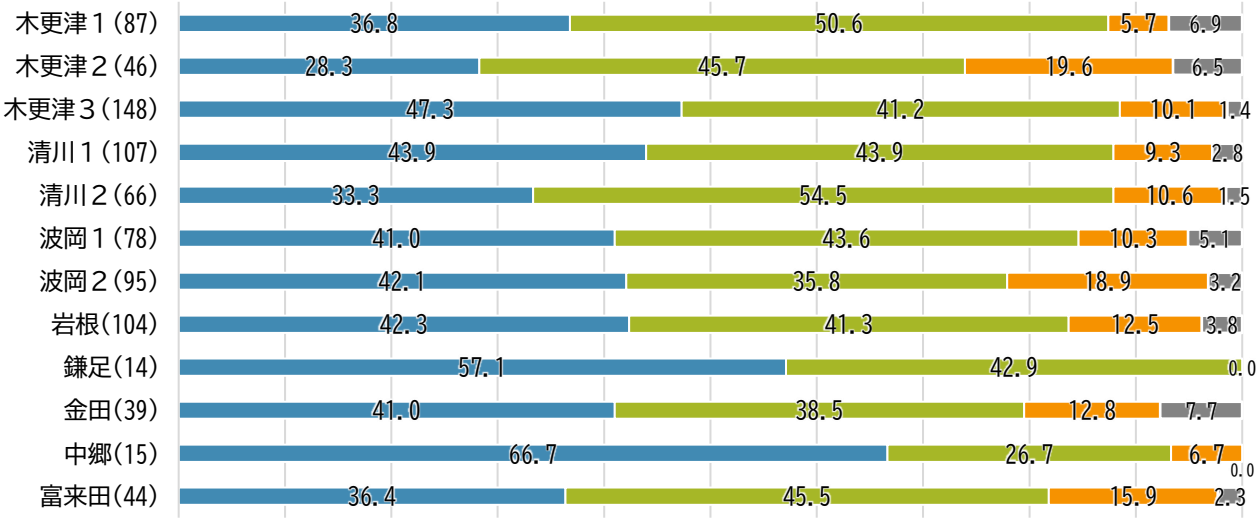
【年齢別】




【通勤・通学別】




【居住地区別】



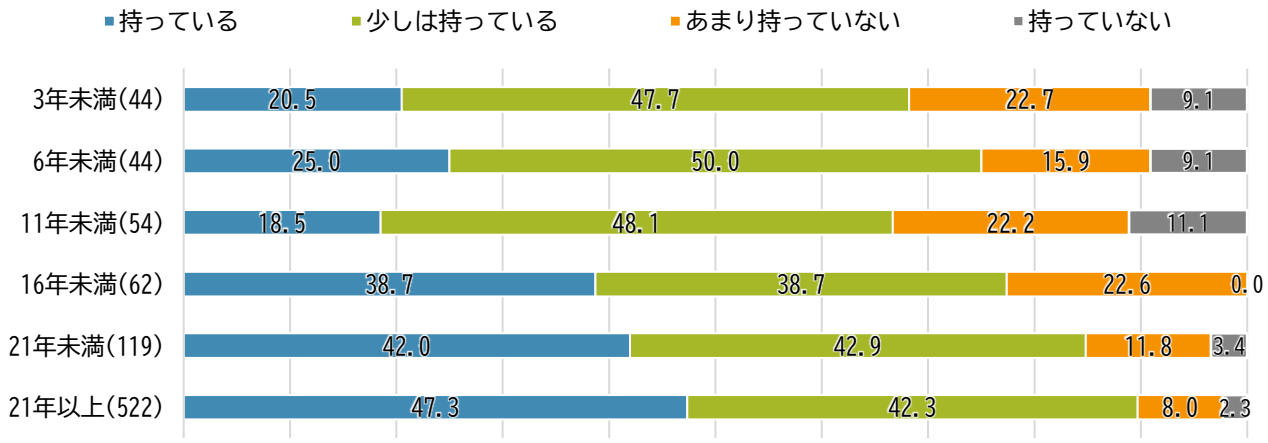

年齢別でみると、「持っている」は70歳代・80歳以上が高くなっている。「持っていない」は30歳代が高くなっている。

通勤・通学先別でみると、「持っていない」はリモートワーク等が高くなっている。

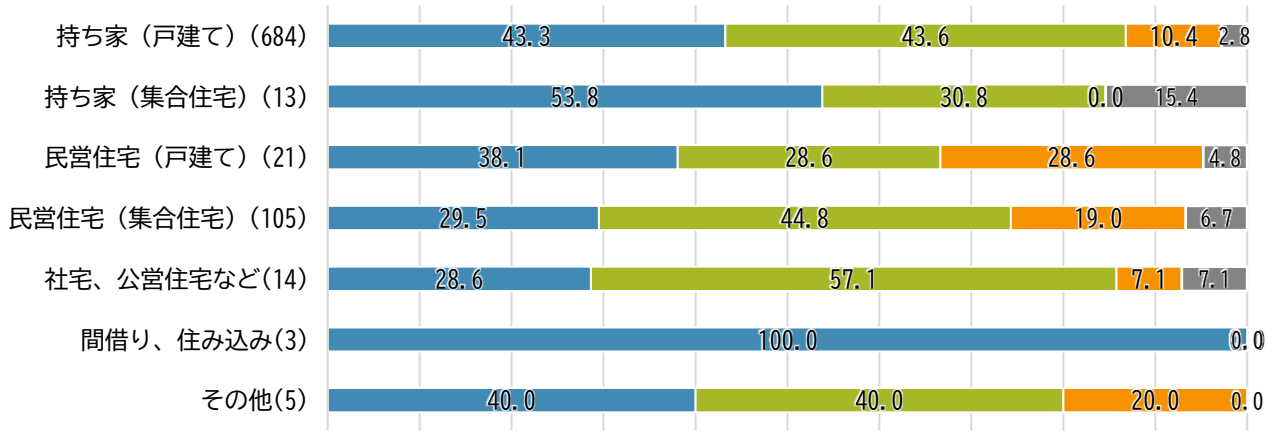
居住地区別でみると、「持っている」は鎌足地区・中郷地区が高くなっている。

［居住期間別、居住形態別、家族構成別］

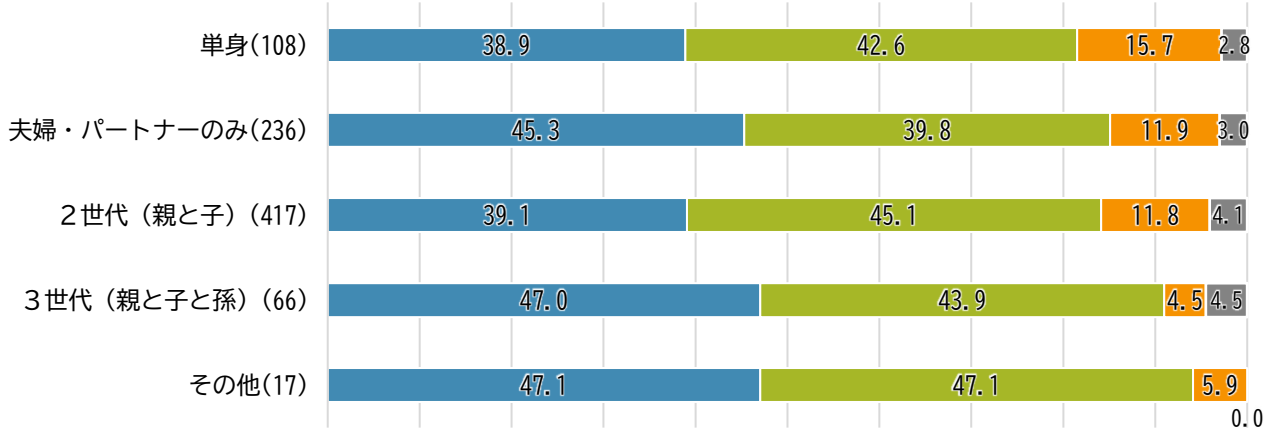
【居住期間別】




【居住形態別】




【家族構成別】



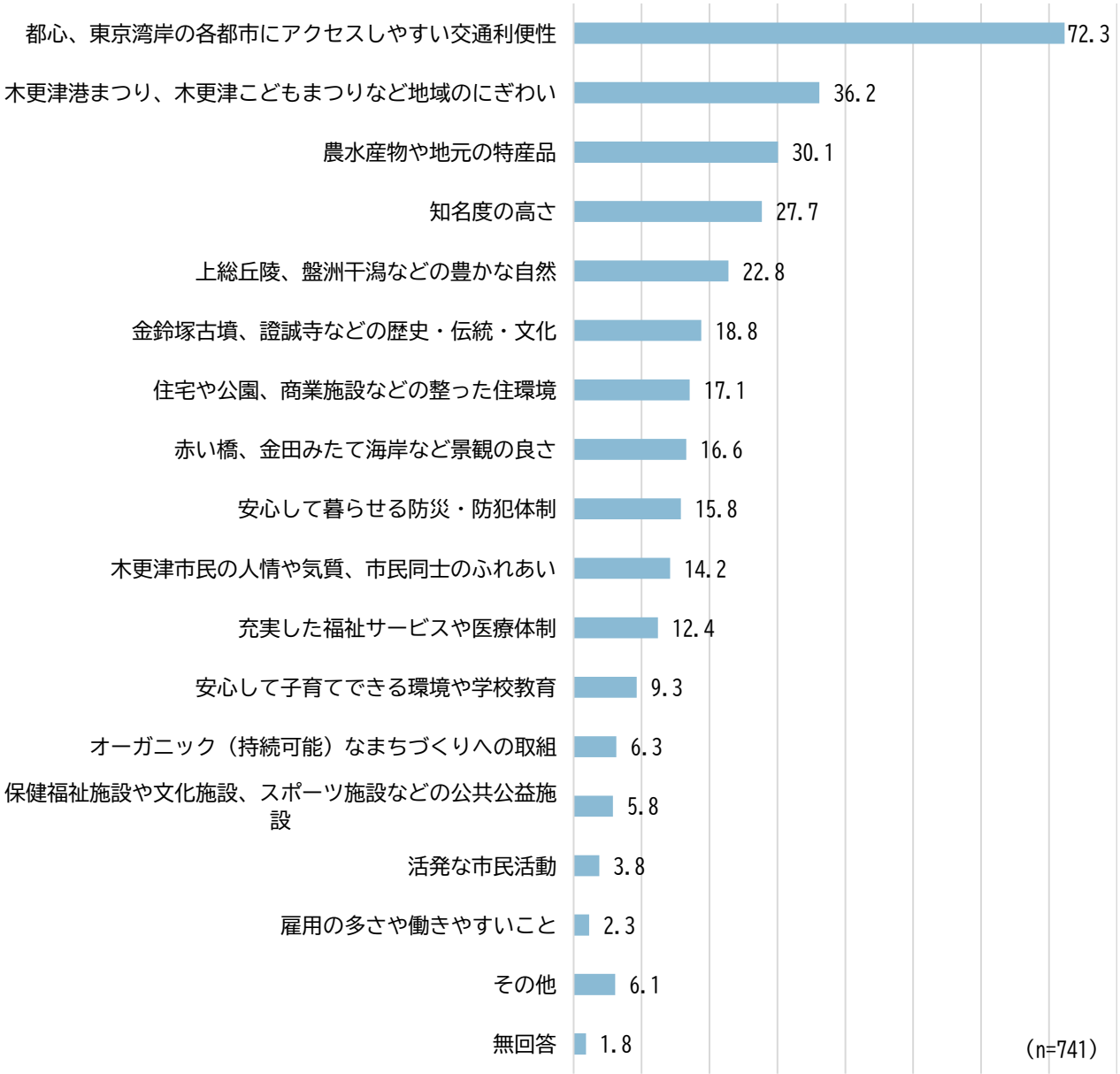

居住期間別でみると、居住期間が長いほど「持っている」が高く、短いほど「持っていない」が高い。

居住形態別でみると、「持っていない」は持ち家（集合住宅）が高くなっている。

家族構成別でみると、「持っている」は３世代、その他が高くなっている。

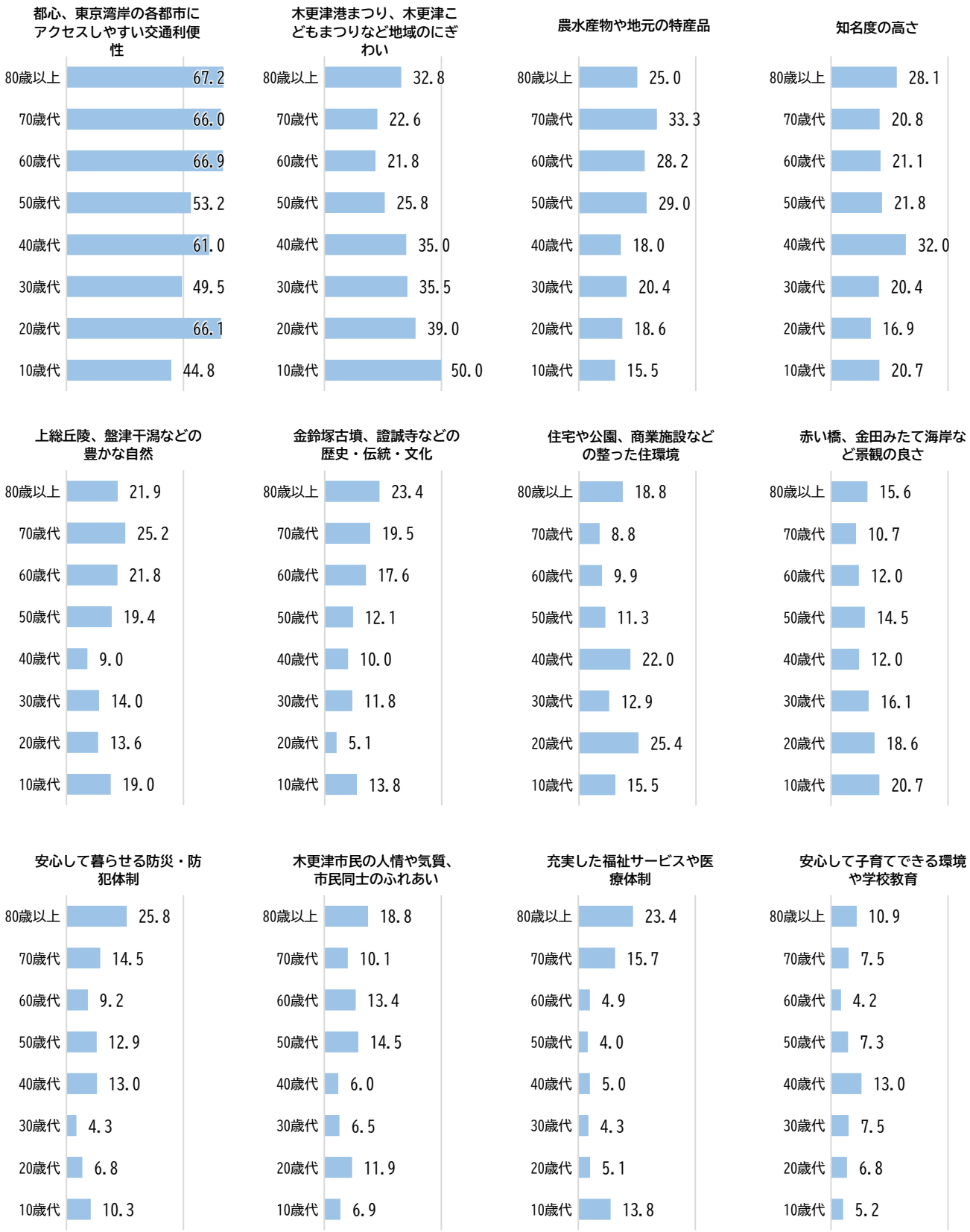
## （２）木更津市の愛着や誇りを感じるもの

問1-2. 問1で点線内を選んだ方に、お聞きします。
あなたが持っている木更津市への愛着や誇りは何ですか。（当てはまるものすべてに✔）




木更津市の愛着や誇りを感じるものについては、「都心、東京湾岸の各都市にアクセスしやすい交通利便性」が72.3%で最も高く、次いで「木更津港まつり、木更津こどもまつりなどの地域のにぎわい」（36.2%）、「農水産物や地元の特産品」（30.1%）、「知名度の高さ」（27.7%）、「上総丘陵、盤津干潟などの豊かな自然」（22.8%）の順となっている。

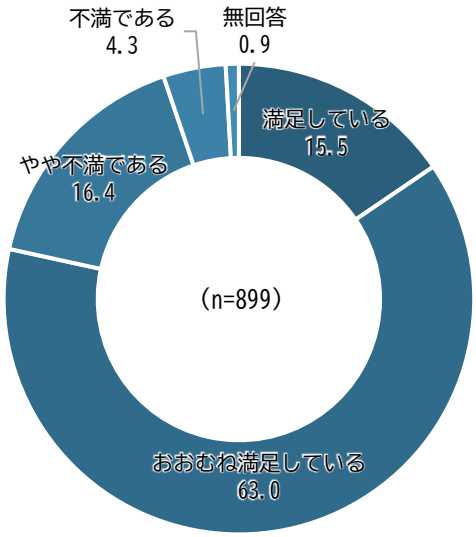
［年齢別］（上位12項目）




年齢別でみると、「木更津港まつり、木更津こどもまつりなどの地域のにぎわい」は10歳代が最も高くなっている。「農水産物や地元の特産品」、「知名度の高さ」は70歳代・80歳以上が高くなっている。「住宅や公園、商業施設などの整った住環境」は20歳代が最も高くなっている。「安心して子育てできる環境や学校教育」は40歳代が最も高くなっている。

## （3）木更津市の住みごこち

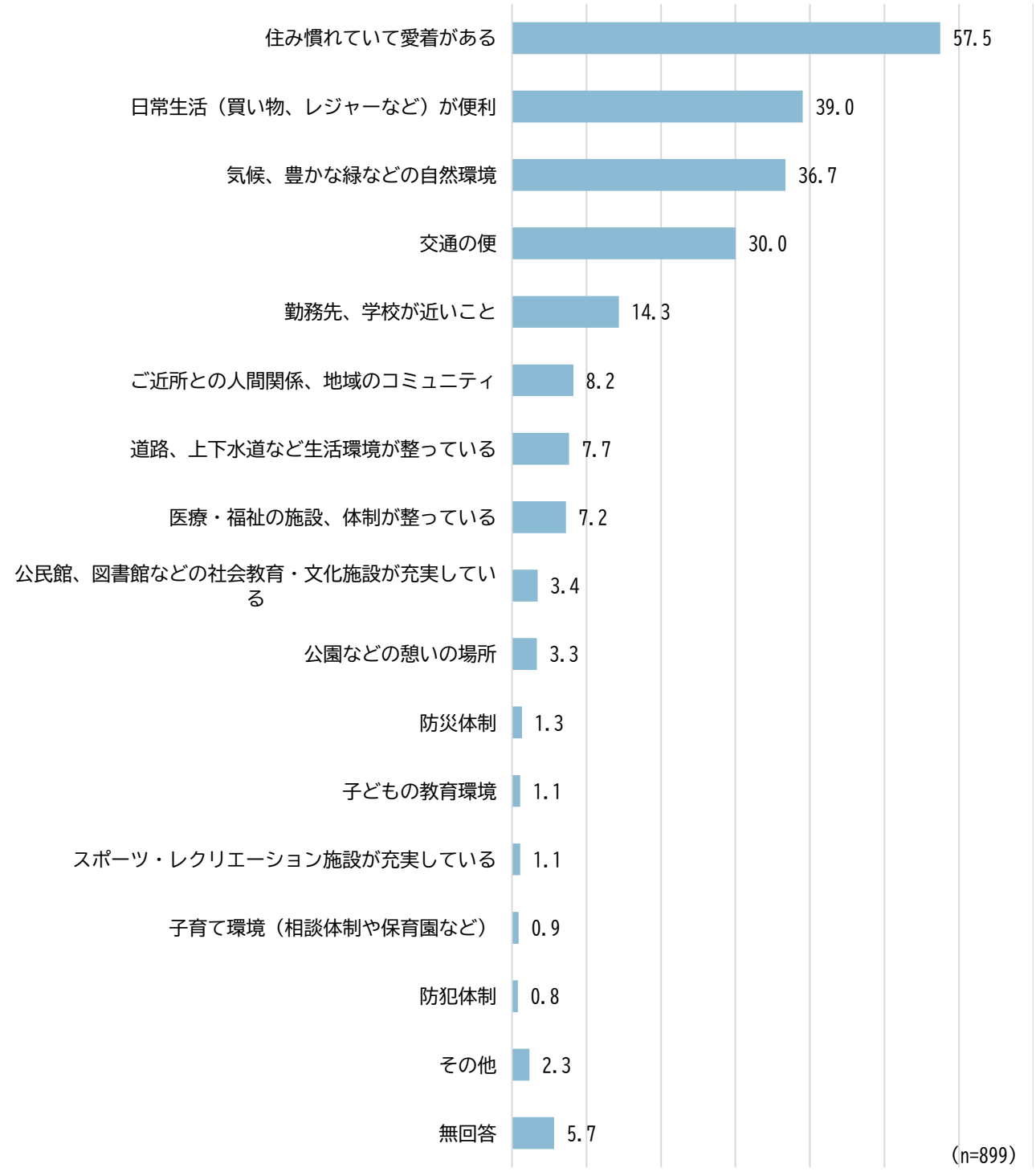
問2．あなたにとって、現在の木更津市の住みごこちはいかがですか。（✔は1つだけ）




木更津市の住みごこちについては、「満足している」(15.5%)と「おおむね満足している」(63.0%）を合わせた『満足している（計)』が78.4%と高くなっている。「やや不満である」(16.4%）と「不満である」(4.3%）を合わせた『不満である（計)』は20.7%となっている。

## （4）住んでいて良いところ

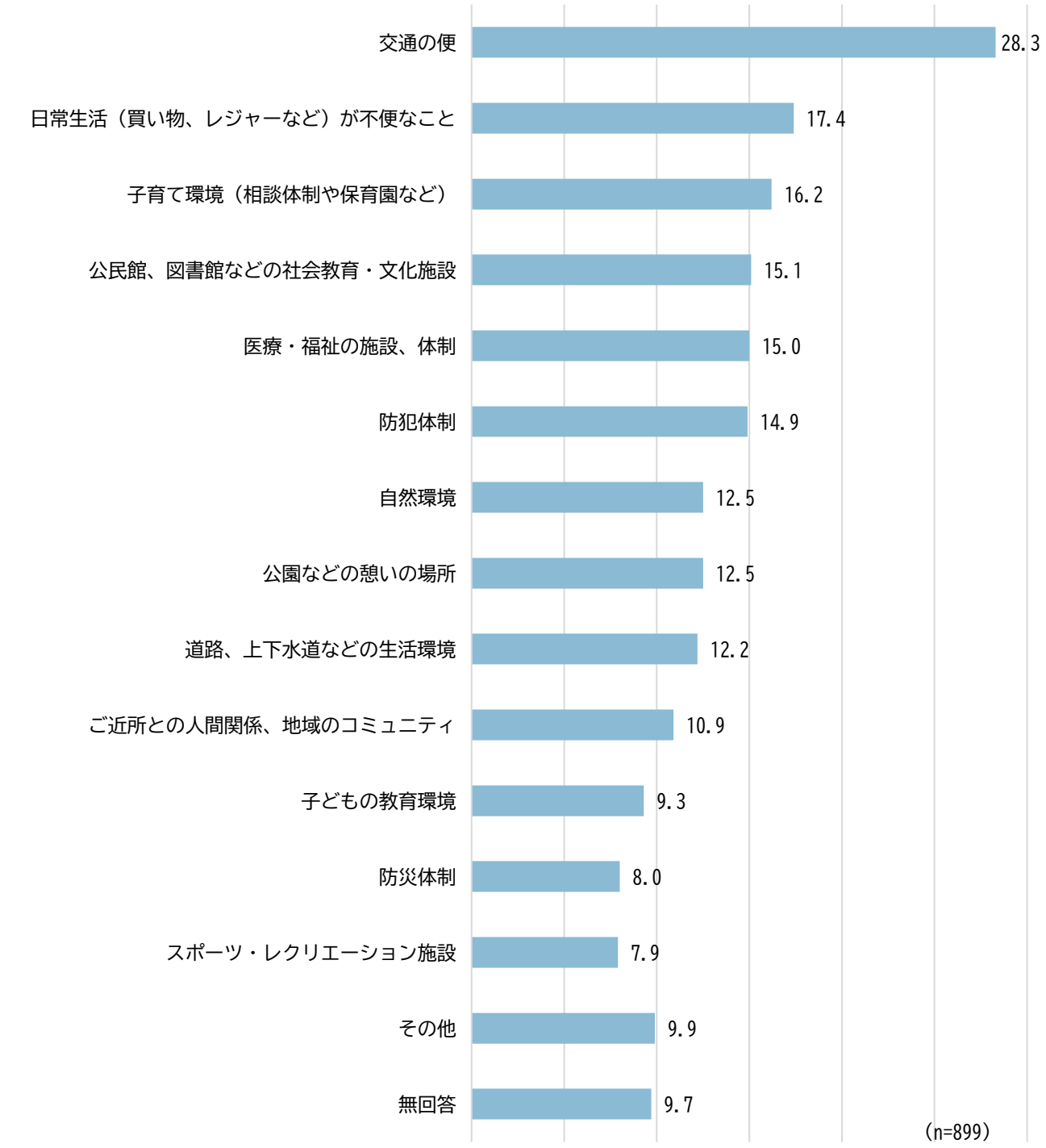
問３．あなたが木更津市に住んでいて、良いと思うことは何ですか。（✔は３つまで）




木更津市に住んでいて良いと思うことについては、「住み慣れていて愛着がある」が57.5%で最も高く、次いで「日常生活（買い物、レジャーなど）が便利」（39.0%）、「気候、豊かな緑などの自然環境」（36.7%）、「交通の便」（30.0%）、「勤務先、学校が近いこと」（14.3%）の順となっている。

## （５）住んでいて良くないところ

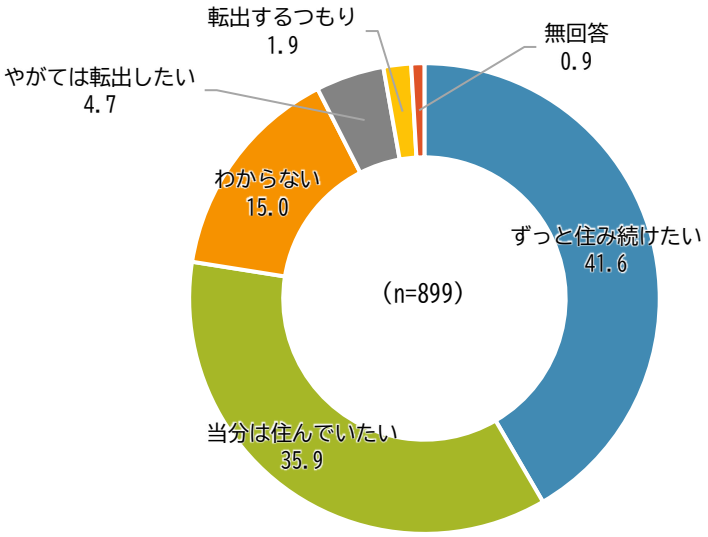
問４．あなたが木更津市に住んでいて、良くないと思うことは何ですか。（✔は３つまで）




木更津市に住んでいて良くないと思うことについては、「交通の便」が28.3%で最も高く、次いで「日常生活（買い物、レジャーなど）が不便なこと」（17.4%）、「子育て環境（相談体制や保育園など）」（16.2%）、「公民館、図書館などの社会教育・文化施設」（15.1%）、「医療、福祉の施設、体制」（15.0%）の順となっている。

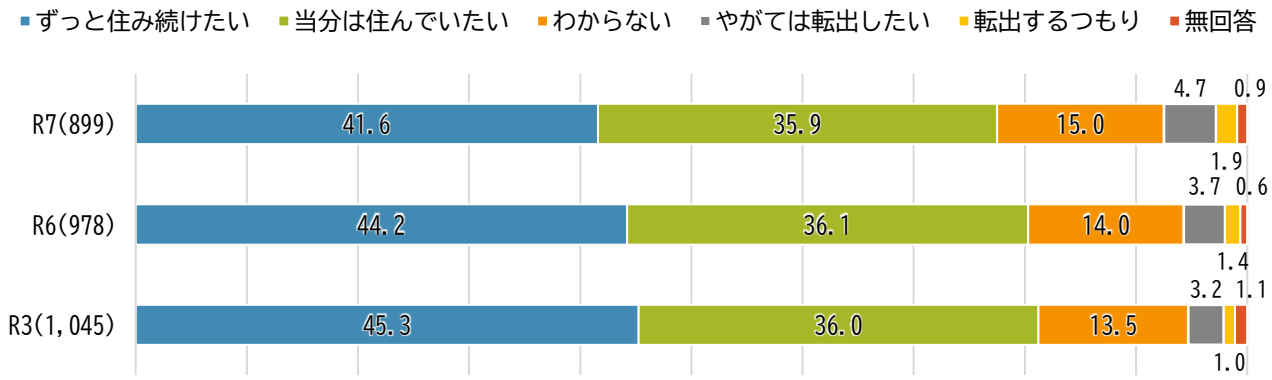
## （６）定住意向

問５．あなたは、これからも木更津市に住みたいと考えていますか。（✔は１つだけ）




定住意向については、「ずっと住み続けたい」（41.6%）と「当分は住んでいたい」（35.9%）を合わせた『定住意向（計）』が77.5%と高くなっている。「やがては転出したい」（4.7%）と「転出するつもり」（1.9%）を合わせた『転出意向（計）』は6.6%となっている。

［過去調査との比較］

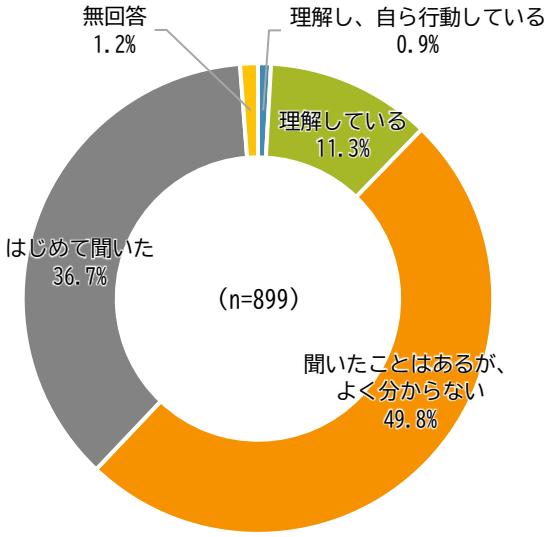


## 3．木更津市の取り組みについて

### （1）「オーガニックなまちづくり」の認知度

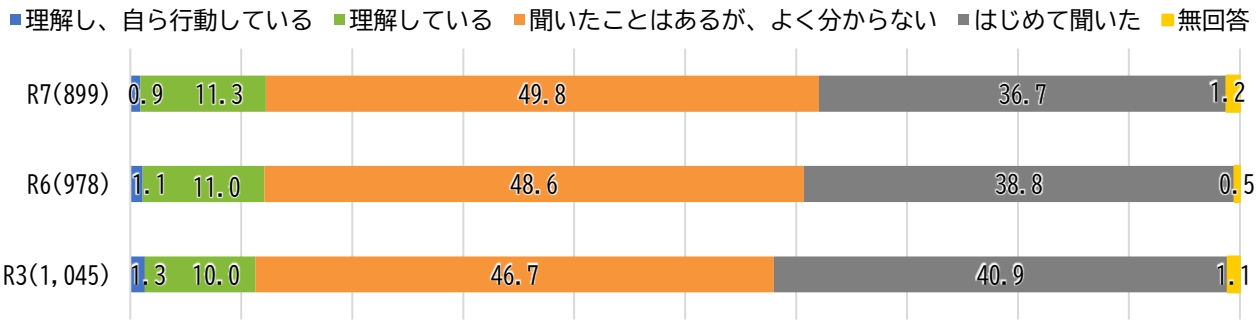
問6．木更津市は、「オーガニックなまちづくり」を推進しています。
この取組について、あなたはどのくらい知っていますか。（✔は１つだけ）

（オーガニックなまちづくりとは？）
このまちに住む人が、それぞれの役割を果たしながら、
互いにつながり支え合って、人と自然が調和した持続可能なまち
をつくろうとする取組のことです。



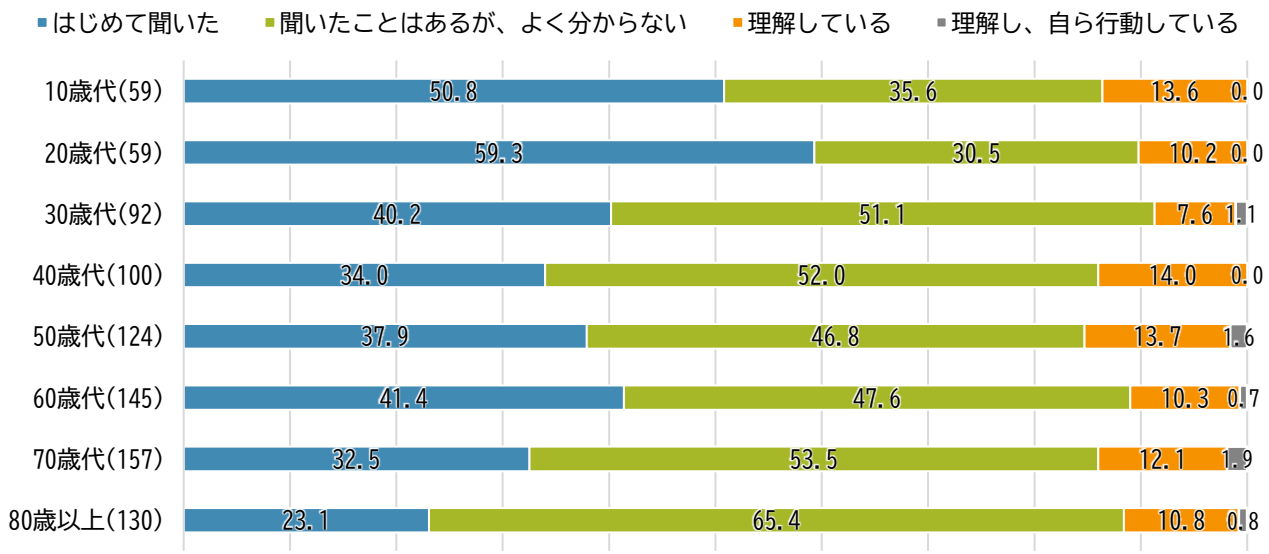

「オーガニックなまちづくり」の認知度については、「理解し、自ら行動している」が0.9%、「理解している」が11.3%となっている。「聞いたことはあるが、よく分からない」は49.8%で、「はじめて聞いた」は36.7%となっている。

【過去調査との比較】

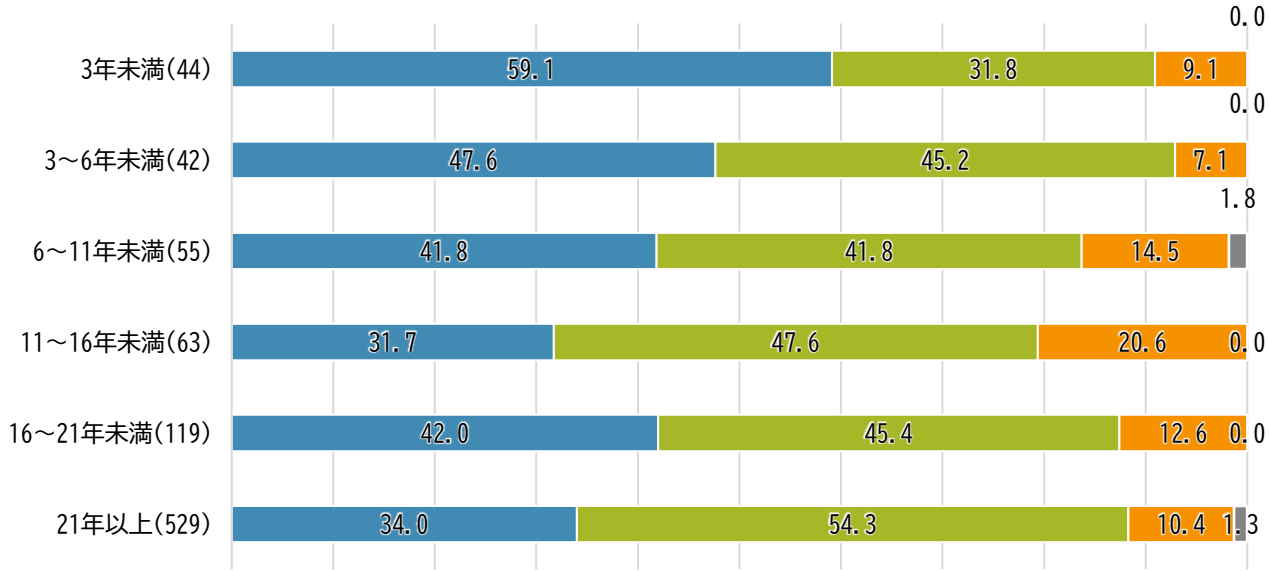


［年齢別、居住期間別］

【年齢別】




【居住期間別】




年齢別でみると、「はじめて聞いた」は20歳代が最も高くなっている。「聞いたことはあるが、よく分からない」は80歳以上が最も高くなっている。「理解している」は40歳代が最も高くなっている。

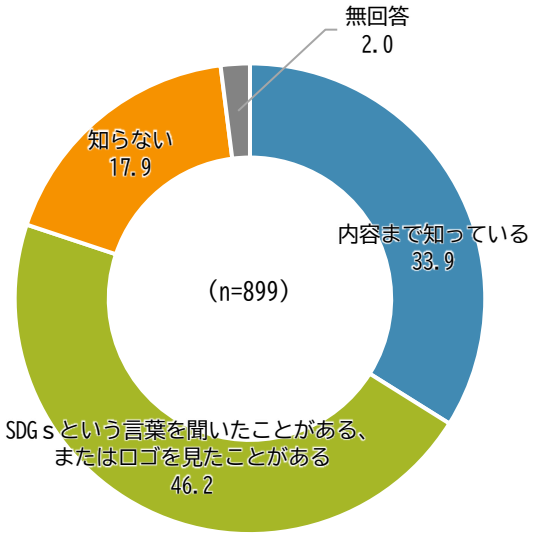
居住期間別でみると、「はじめて聞いた」は３年未満が最も高くなっている。「理解している」は11～16年未満が最も高くなっている。

問７.あなたは、ＳＤＧｓについて、どの程度知っていますか。（✔は1つだけ）

（ＳＤＧsとは？）

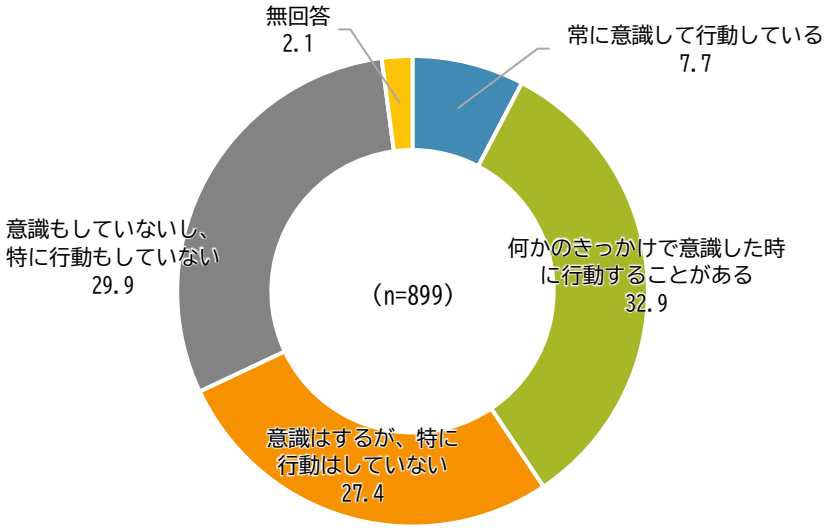
国連サミットで採択された、開発途上国だけでなく先進国も取り組む国際目標であり、「誰一人取り残さない」ことを理念に掲げています。貧困やジェンダー平等、気候変動など、様々な課題解決に向けた17の目標があります。




「ＳＤＧｓ」の認知度ついては、「内容まで知っている」が33.9%、「ＳＤＧｓという言葉を聞いたことがある、またはロゴを見たことがある」が46.2%、「知らない」が17.9%となっている。

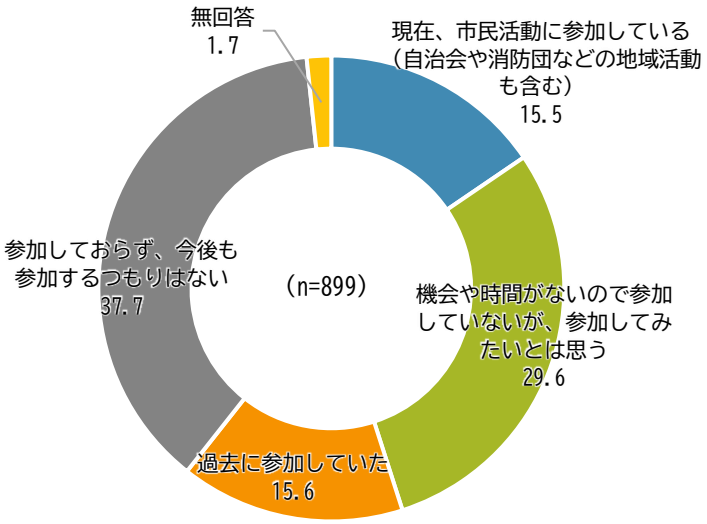
問８.あなたは、家庭や仕事などの日常生活において、ＳＤＧｓの17の目標のうち、
１つでも意識して行動していますか。（✔は1つだけ）




「ＳＤＧｓ」に対する意識については、「常に意識して行動している」が 7.7%、「何かのきっかけで意識した時に行動することがある」が 32.9%、「意識はするが、特に行動はしていない」が 27.4%、「意識もしていないし、特に行動もしていない」が 29.9%となっている。

## （２）市民活動の参加状況

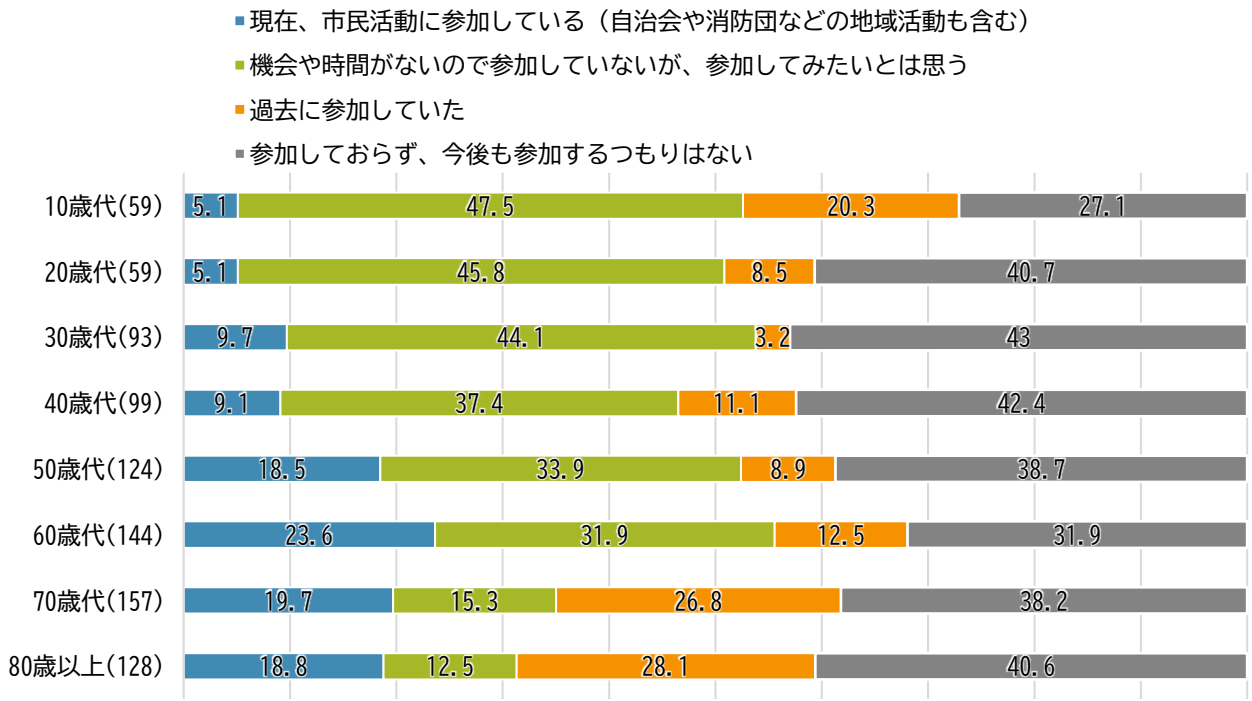
問９．木更津市は、「市民活動（ボランティアやＮＰＯ活動など）」を推進しています。
あなたの市民活動の参加状況はどれですか。（✔は1つだけ）



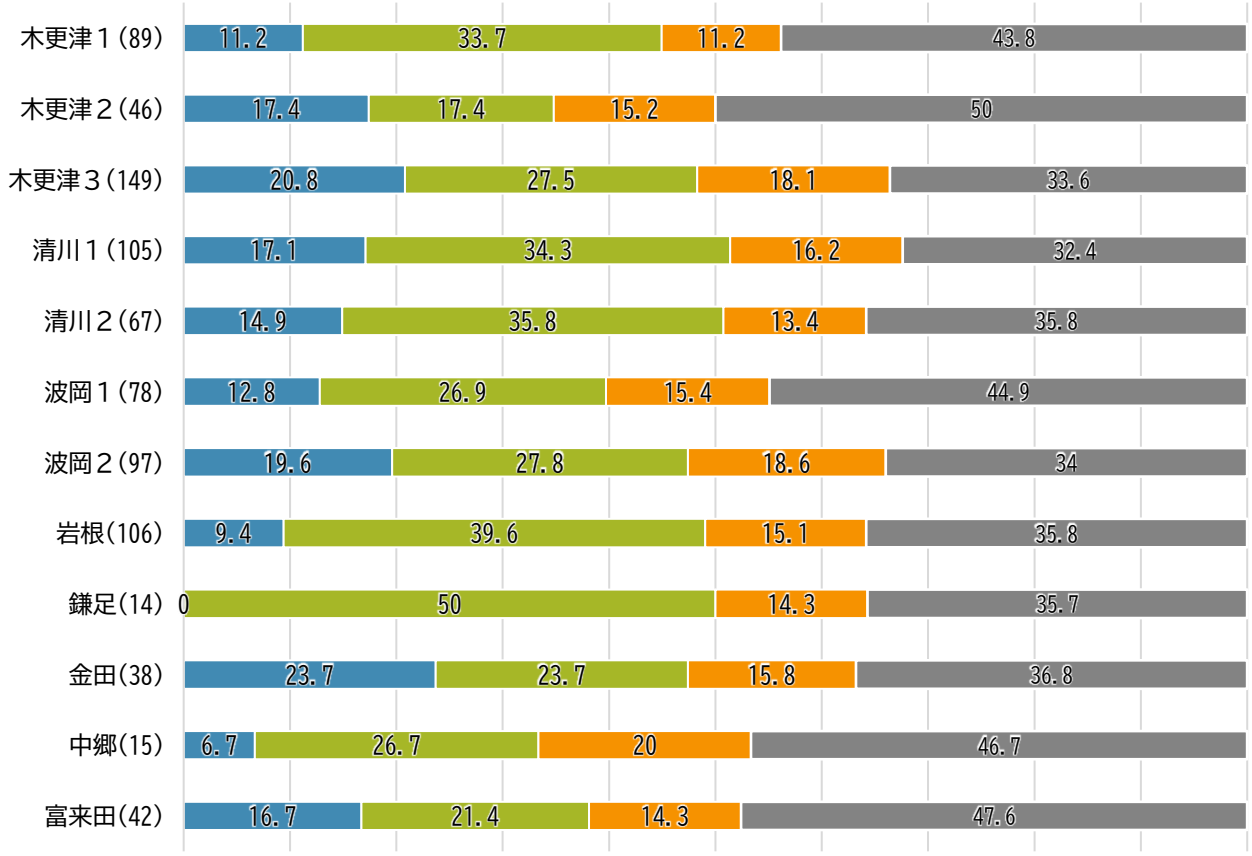

市民活動の参加状況については、「現在、市民活動に参加している（自治会や消防団などの地域活動も含む）」が15.5%、「機会や時間がないので参加していないが、参加してみたいとは思う」が29.6%となっている。「過去に参加していた」は15.6%、「参加しておらず、これからも参加するつもりはない」は37.7%となっている。

［年齢別、居住地区別］

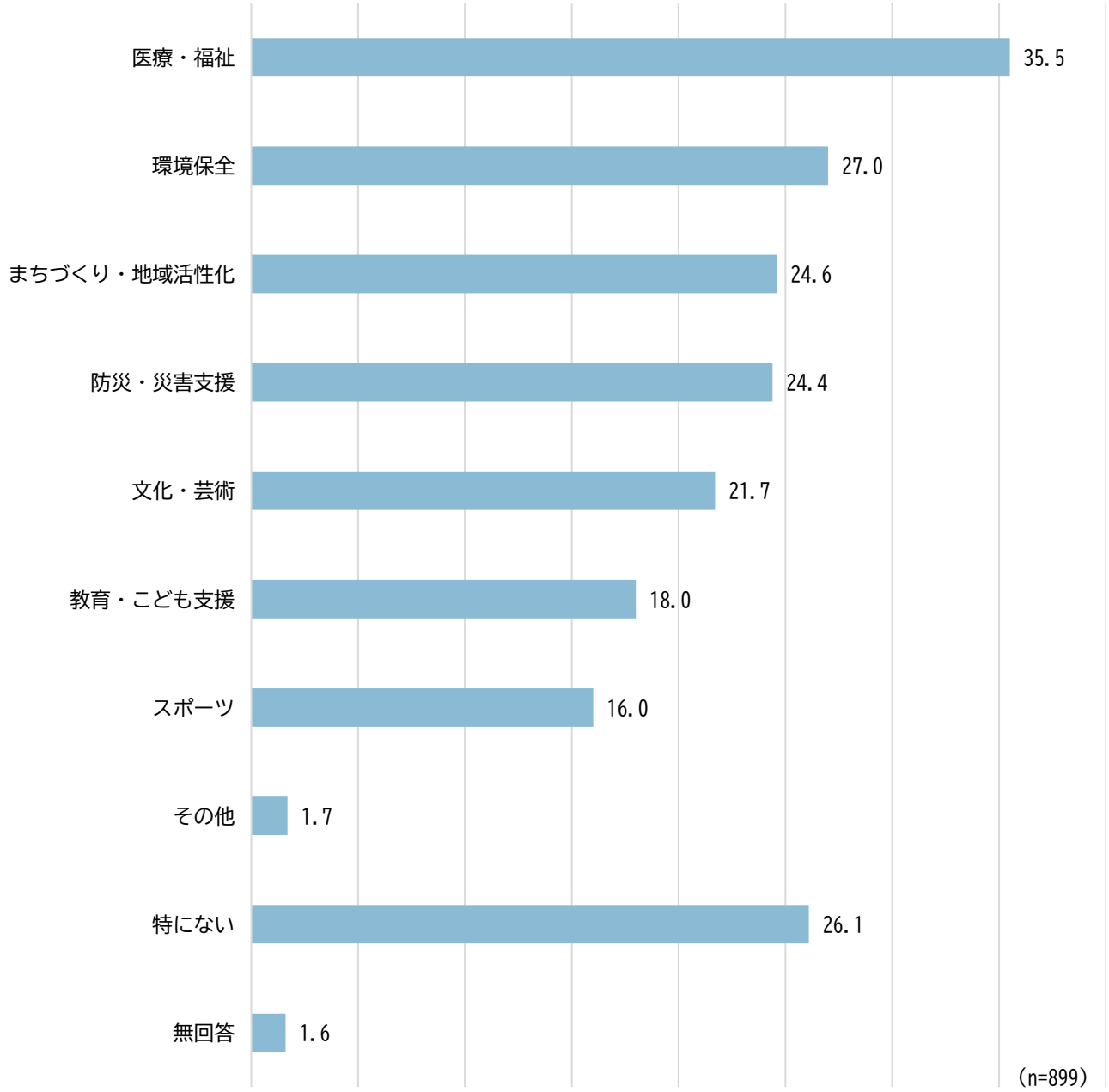
【年齢別】




【居住地区別】



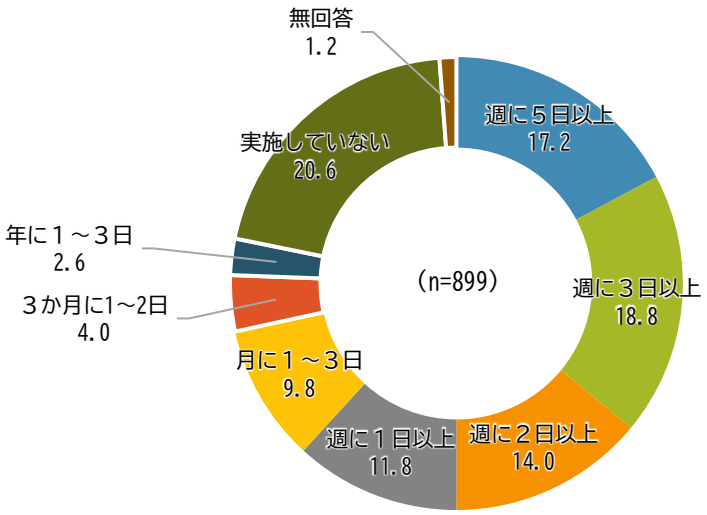
問10. あなたは、どのような市民活動に興味・関心がありますか。（当てはまるものすべてに✔）




興味・関心がある市民活動については、「医療・福祉」が35.5%で最も高く、次いで「環境保全」（27.0%）、「まちづくり・地域活性化」（24.6%）、「防災・災害支援」（24.4%）の順となっている。「特にない」は26.1%となっている。

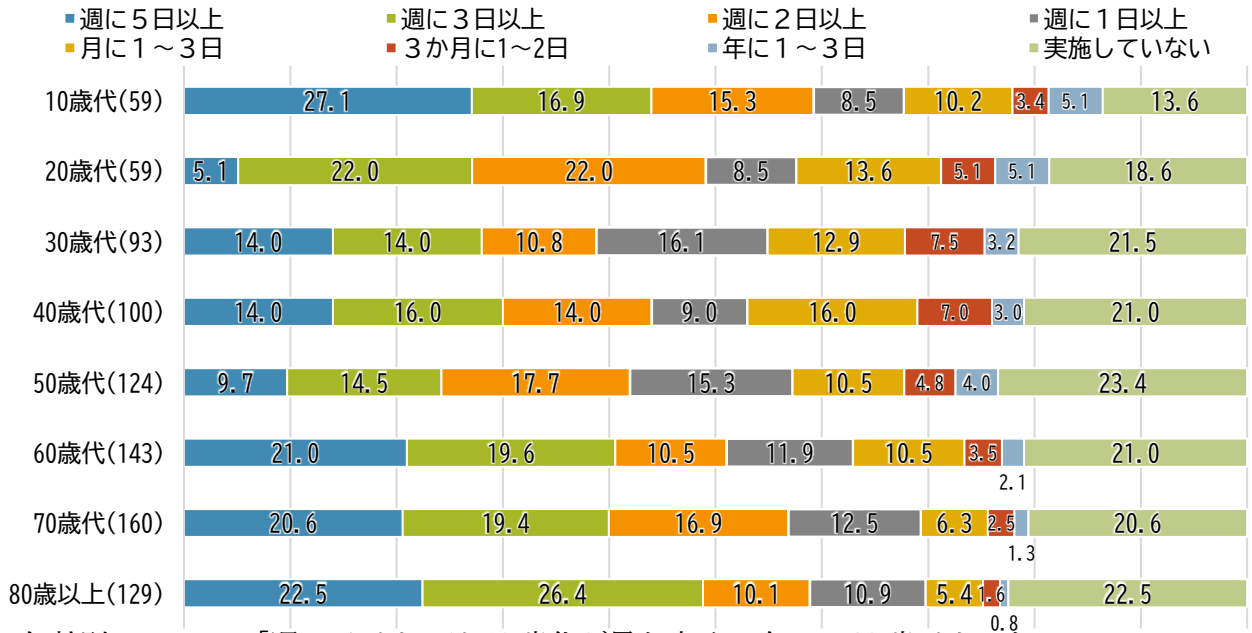
## （３）運動・スポーツの参加状況

問11. 木更津市は、「心身の健康のために行う身体活動」を推進しています。
あなたが、この１年間にウォーキングや体操、意識的な階段昇降なども含めた軽い運動やスポーツを行ったのは何日くらいになります。（✔は1つだけ）




運動・スポーツの参加状況については、「実施していない」が20.6%で最も高く、次いで「週に３日以上」（18.8%）、「週に５日以上」（17.2%）、「週に２日以上」（14.0%）、「週に１日以上」（11.8%）の順となっている。

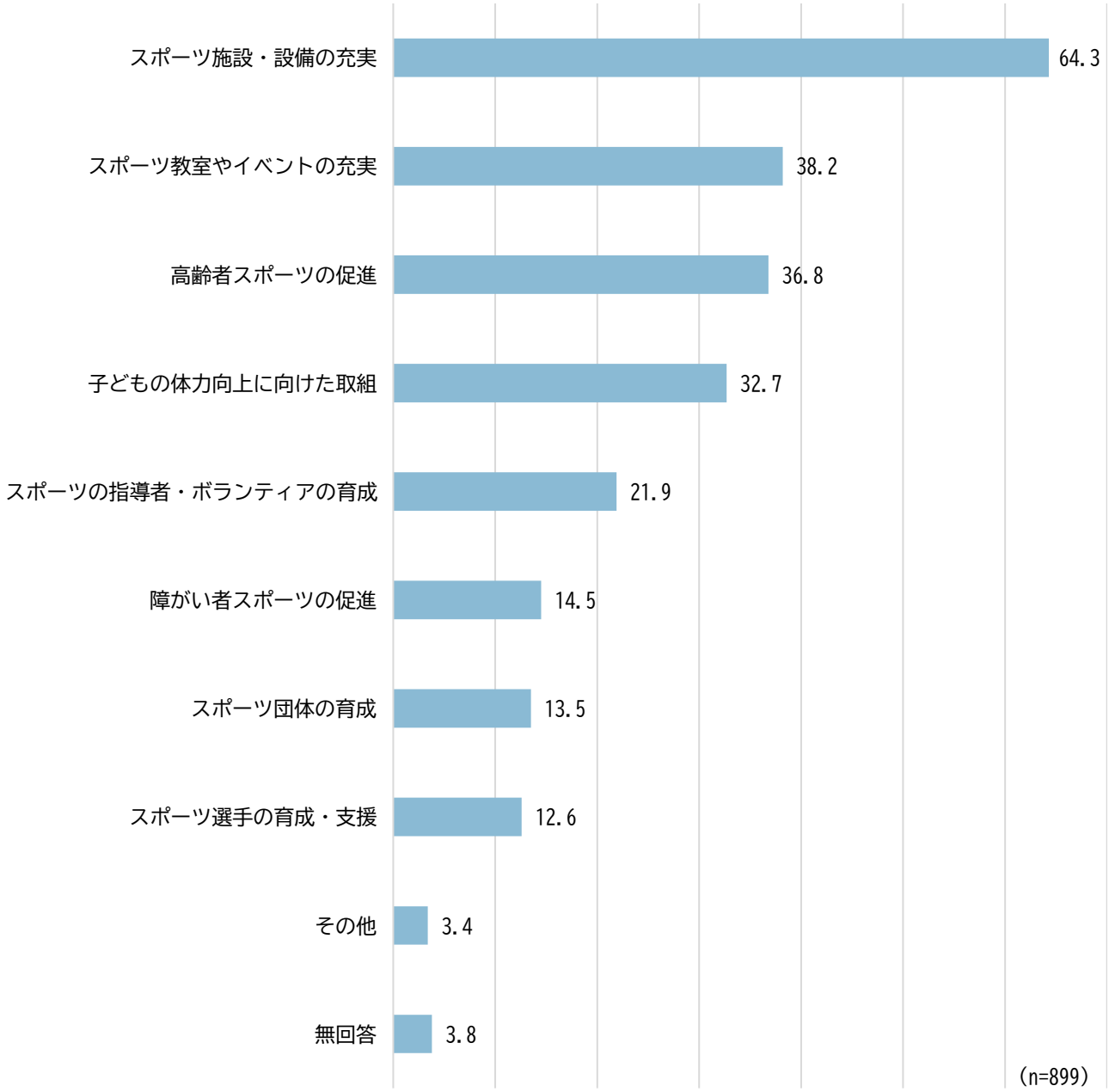
【年齢別】




年齢別にみると、「週５日以上」は 10 歳代が最も高く、次いで 80 歳以上となっている。

「週１日以上」は運動している合計の割合は、10 歳代、20 歳代 80 歳以上が最も低くなっている。

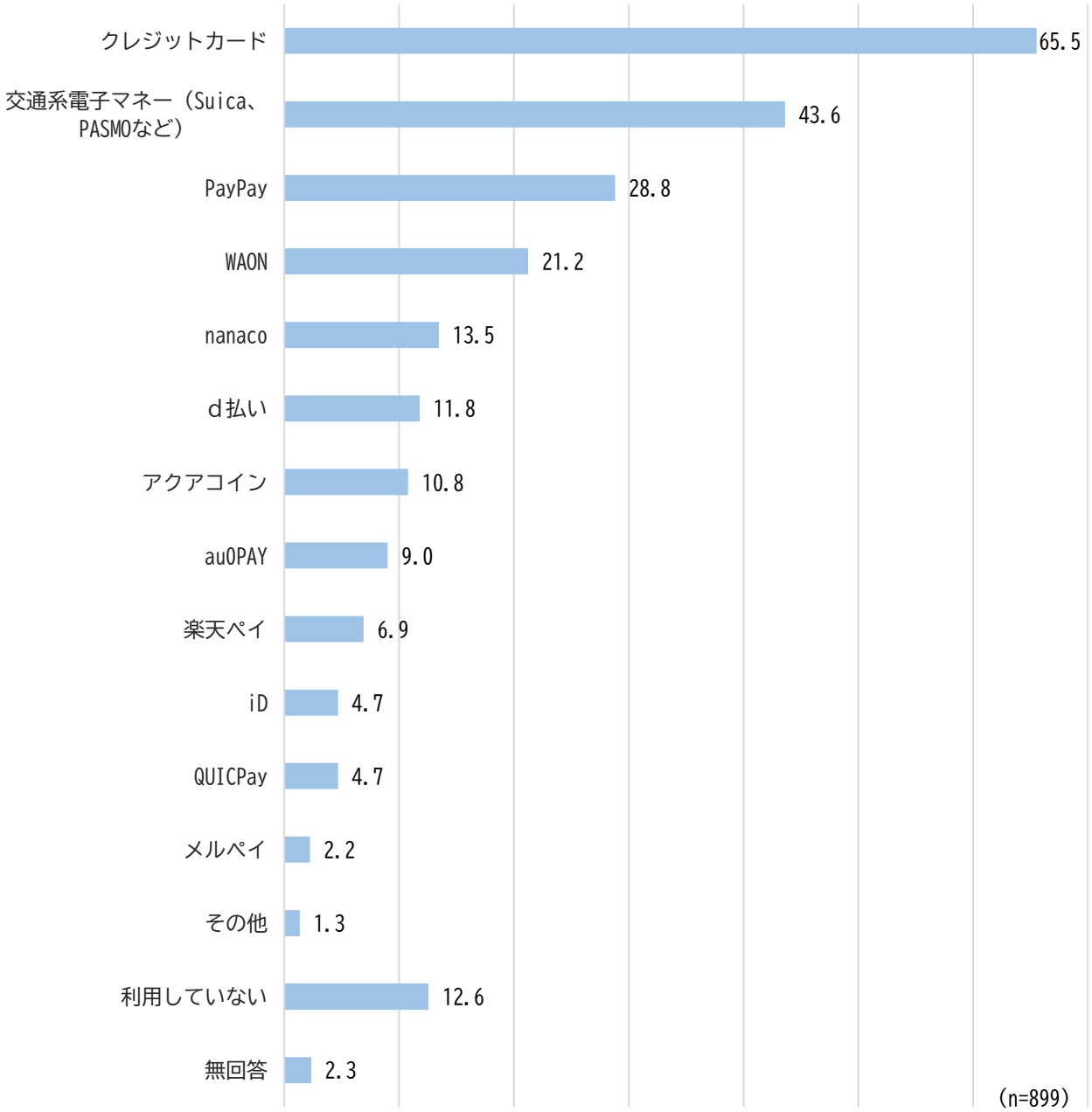
問12. あなたは、木更津市がスポーツを推進していくうえで重要なことは何だと思いますか。
（当てはまるものすべてに✔）




スポーツを推進するための市の取組については、「スポーツ施設・設備の充実」が64.3%で最も高く、次いで「スポーツ教室やイベントの充実」（38.2%）、「高齢者スポーツの促進」（36.8%）、「子どもの体力向上に向けた取組」（32.7%）の順となっている。

## （4）キャッシュレス決済の普及度

問13. あなたが普段利用しているキャッシュレス決済はどれですか。（当てはまるものすべてに✔）




キャッシュレス決済の普及度については、「クレジットカード」が65.6%で最も高く、次いで「交通系電子マネー」（43.6%）、「PayPay」（28.8%）、「WAON」（21.2%）の順となっている。

**※アクアコインとは？**

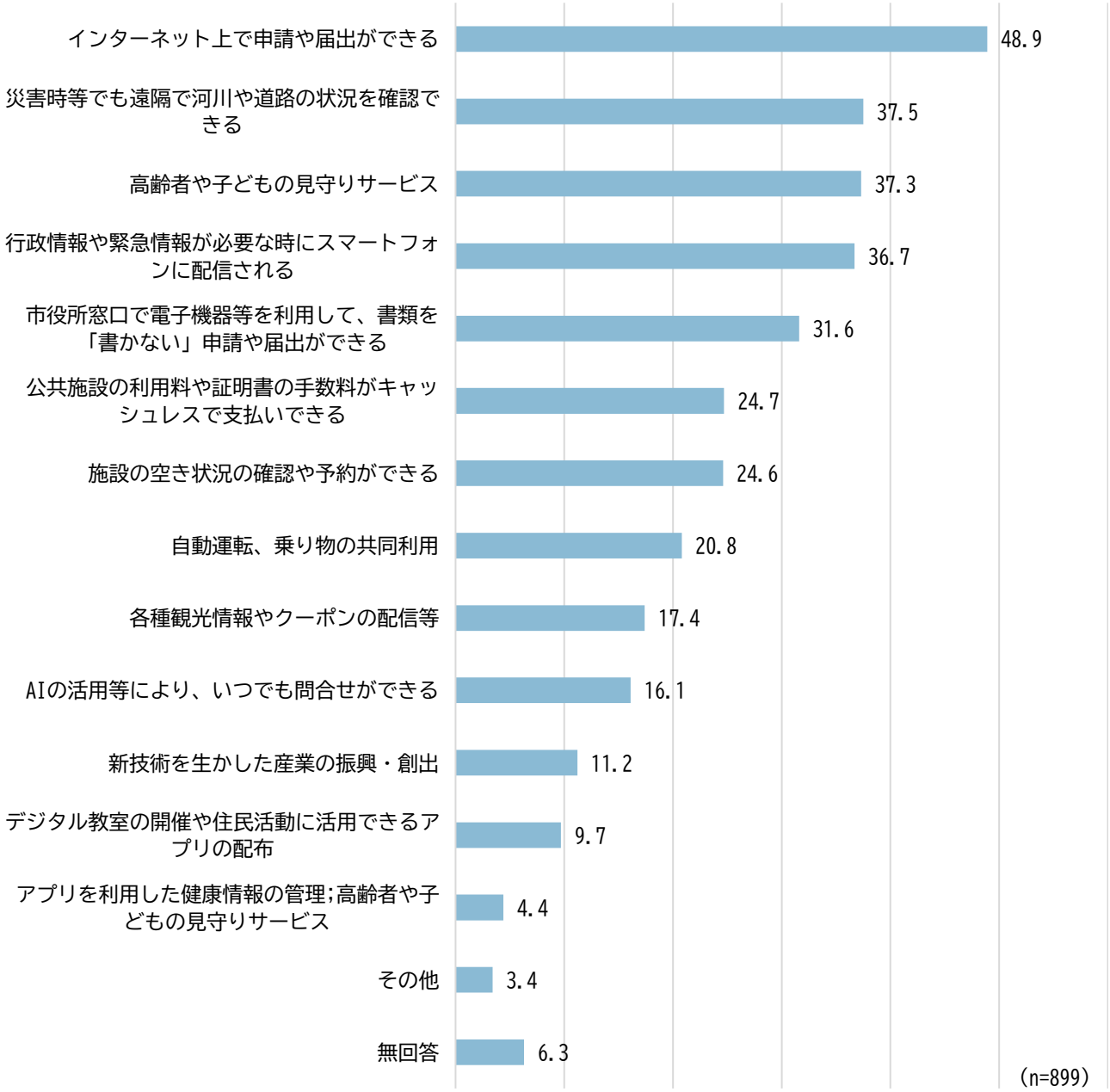
君津信用組合・木更津市・木更津商工会議所が連携して普及に取り組む電子地域通貨のことです。
スマートフォンの専用アプリをダウンロードし、1円＝1コインとしてアクアコインをチャージして、
木更津市内の加盟店に設置してある QR コードを読み取り、利用代金をキャッシュレスで決済できます。

※QR コードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。



## （５）デジタル化に期待する取組

問14.木更津市の今後のデジタル化の取組で、期待することは何ですか。
（当てはまるものすべてに✔）




デジタル化に期待する取組については、「インターネット上で申請や届出ができる」が48.9%で最も高く、次いで「災害時等でも遠隔で河川や道路の状況を確認できる」(37.5%)、「高齢者や子どもの見守りサービス」(37.3%)、「行政情報や緊急情報が必要な時にスマートフォンに配信される」(36.7%)の順となっている。

## ４．行政サービスに関する満足度、今後の優先度について

### （１）行政サービスに関する現在の満足度と今後の優先度

問15. あなたは、木更津市の行政サービスに対して、どのくらい満足していますか。
また、今後どのくらい優先的に取り組んでほしいと思いますか。以下の１～48の
各項目について、「現在の満足度」と「今後の優先度」を選んでください。（✔は1つずつ）

木更津市の行政サービス48項目に関する現在の満足度については、「５」と「４」を合わせた『高い（計）』は「1 保健の充実」が38.5%で最も高く、次いで「２ 医療の充実」（34.7%）、「37 資源循環の推進」（29.0%）、「７ 消防・救急救助体制の充実」（27.6%）、「35 上水道の充実」（27.6%）、「15 スポーツ・レクリエーションの充実」（27.5%）の順となっている。

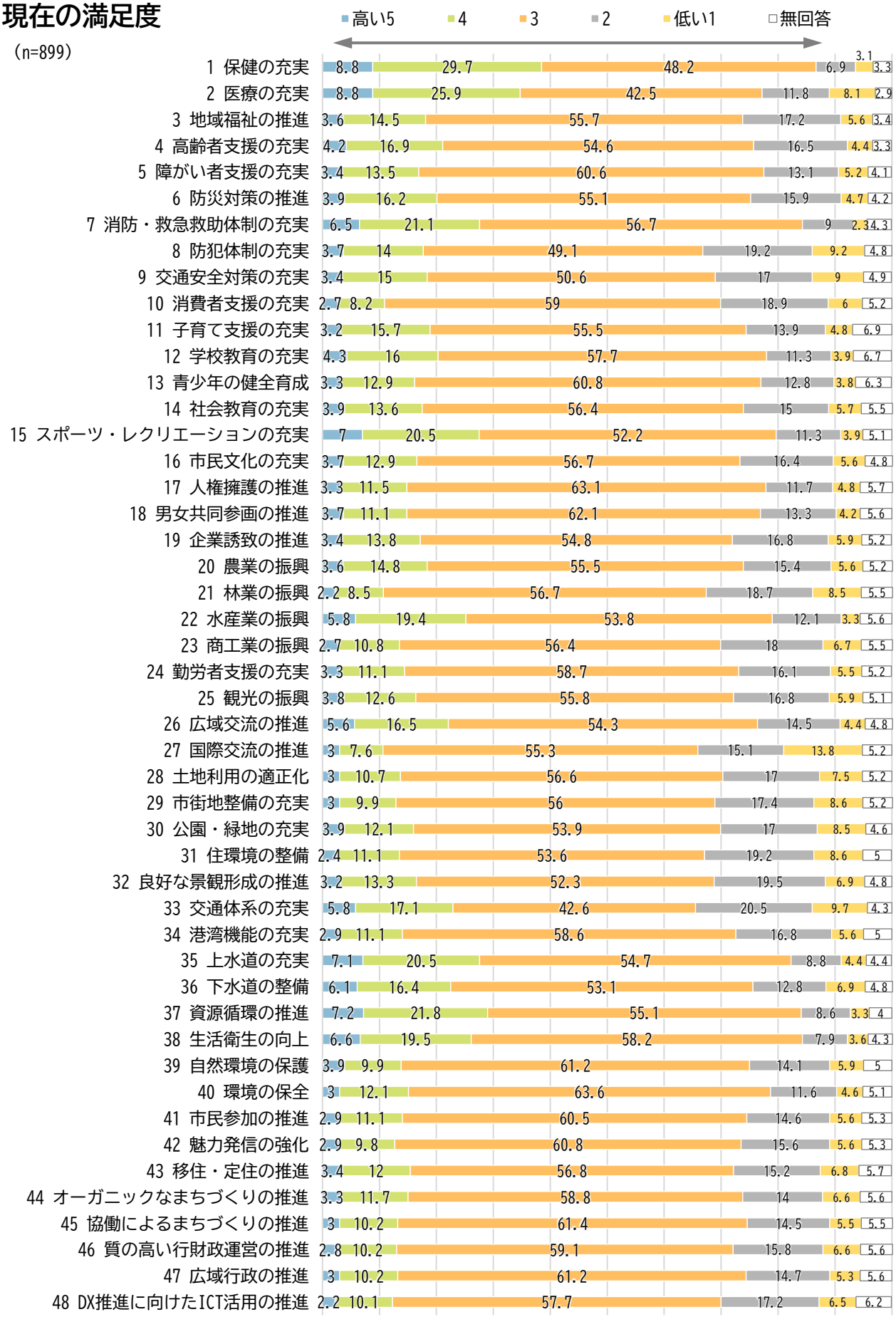
一方、「２」と「１」を合わせた『低い（計）』は「33 交通体系の充実」が30.2%で最も高く、次いで「27 国際交流の推進」（28.9%）、「8 防犯体制の充実」（28.4%）、「31 住環境の整備」（27.8%）、「21 林業の振興」（27.2%）の順となっている。

木更津市の行政サービス48項目に関する今後の優先度については、「５」と「４」を合わせた『高い（計）』は「２ 医療の充実」（76.3%）で最も高く、次いで、「６ 防災対策の推進」が（72.7%）、「８ 防犯体制の充実」（70.6%）、「33 交通体系の充実」（70.3%）、「7 消防・救急救助体制の充実」（65.7%）の順となっている。

一方、「２」と「１」を合わせた『低い（計）』は「27 国際交流の推進」（29.7%）、「29 市街地整備の充実」（16.5%）、「43 移住・定住の推進」（16.4%）、「44 オーガニックなまちづくりの推進」（15.1%）、「25 観光の振興」（14.7%）となっている。

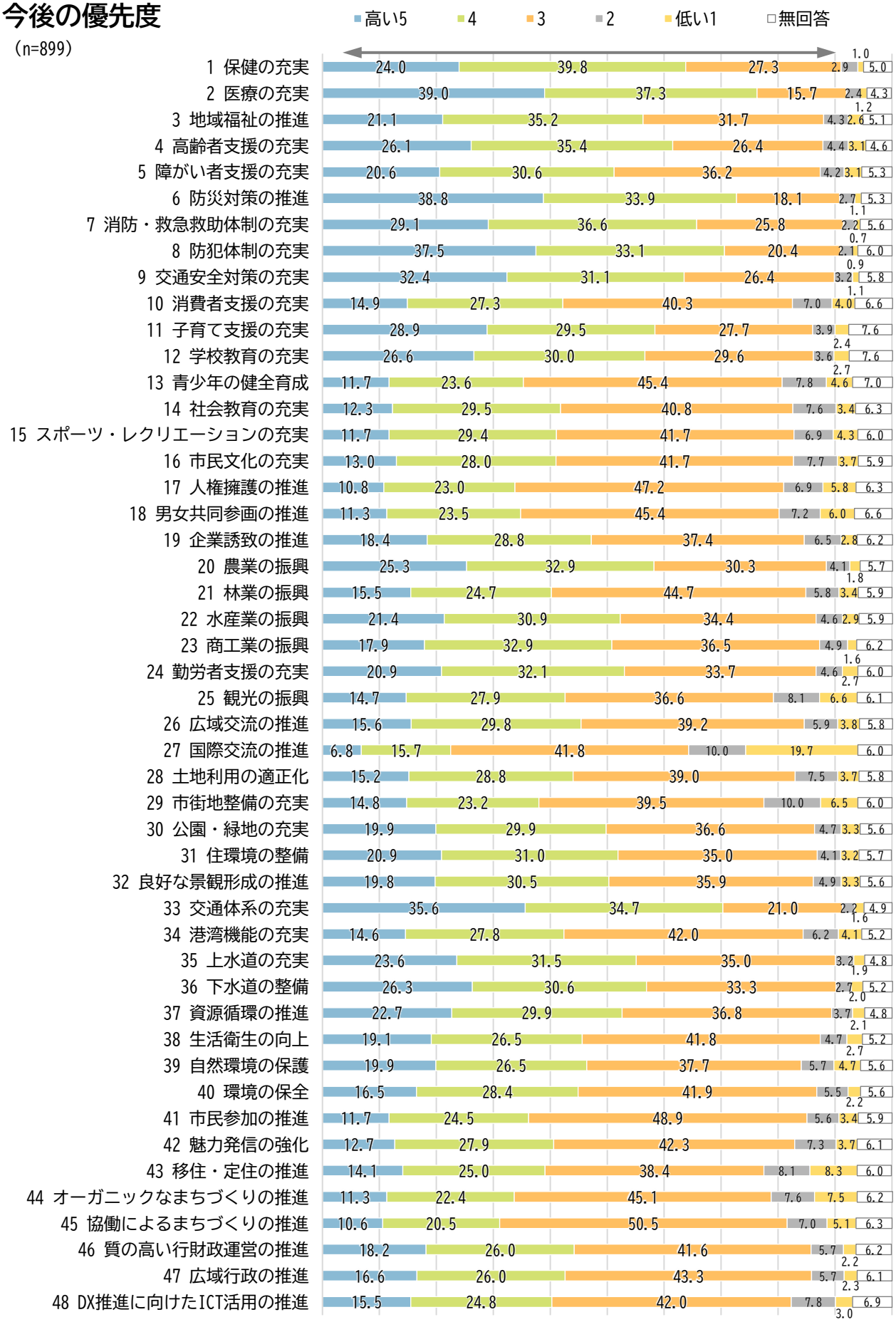
## 現在の満足度

（n=899）


高い5
4
3
2
低い1
無回答
1 保健の充実 8.8 29.7 48.2 6.9 3.1 3.3
2 医療の充実 8.8 25.9 42.5 11.8 8.1 2.9
3 地域福祉の推進 3.6 14.5 55.7 17.2 5.6 3.4
4 高齢者支援の充実 4.2 16.9 54.6 16.5 4.4 3.3
5 障がい者支援の充実 3.4 13.5 60.6 13.1 5.2 4.1
6 防災対策の推進 3.9 16.2 55.1 15.9 4.7 4.2
7 消防・救急救助体制の充実 6.5 21.1 56.7 9 2.3 4.3
8 防犯体制の充実 3.7 14 49.1 19.2 9.2 4.8
9 交通安全対策の充実 3.4 15 50.6 17 9 4.9
10 消費者支援の充実 2.7 8.2 59 18.9 6 5.2
11 子育て支援の充実 3.2 15.7 55.5 13.9 4.8 6.9
12 学校教育の充実 4.3 16 57.7 11.3 3.9 6.7
13 青少年の健全育成 3.3 12.9 60.8 12.8 3.8 6.3
14 社会教育の充実 3.9 13.6 56.4 15 5.7 5.5
15 スポーツ・レクリエーションの充実 7 20.5 52.2 11.3 3.9 5.1
16 市民文化の充実 3.7 12.9 56.7 16.4 5.6 4.8
17 人権擁護の推進 3.3 11.5 63.1 11.7 4.8 5.7
18 男女共同参画の推進 3.7 11.1 62.1 13.3 4.2 5.6
19 企業誘致の推進 3.4 13.8 54.8 16.8 5.9 5.2
20 農業の振興 3.6 14.8 55.5 15.4 5.6 5.2
21 林業の振興 2.2 8.5 56.7 18.7 8.5 5.5
22 水産業の振興 5.8 19.4 53.8 12.1 3.3 5.6
23 商工業の振興 2.7 10.8 56.4 18 6.7 5.5
24 勤労者支援の充実 3.3 11.1 58.7 16.1 5.5 5.2
25 観光の振興 3.8 12.6 55.8 16.8 5.9 5.1
26 広域交流の推進 5.6 16.5 54.3 14.5 4.4 4.8
27 国際交流の推進 3 7.6 55.3 15.1 13.8 5.2
28 土地利用の適正化 3 10.7 56.6 17 7.5 5.2
29 市街地整備の充実 3 9.9 56 17.4 8.6 5.2
30 公園・緑地の充実 3.9 12.1 53.9 17 8.5 4.6
31 住環境の整備 2.4 11.1 53.6 19.2 8.6 5
32 良好な景観形成の推進 3.2 13.3 52.3 19.5 6.9 4.8
33 交通体系の充実 5.8 17.1 42.6 20.5 9.7 4.3
34 港湾機能の充実 2.9 11.1 58.6 16.8 5.6 5
35 上水道の充実 7.1 20.5 54.7 8.8 4.4 4.4
36 下水道の整備 6.1 16.4 53.1 12.8 6.9 4.8
37 資源循環の推進 7.2 21.8 55.1 8.6 3.3 4
38 生活衛生の向上 6.6 19.5 58.2 7.9 3.6 4.3
39 自然環境の保護 3.9 9.9 61.2 14.1 5.9 5
40 環境の保全 3 12.1 63.6 11.6 4.6 5.1
41 市民参加の推進 2.9 11.1 60.5 14.6 5.6 5.3
42 魅力発信の強化 2.9 9.8 60.8 15.6 5.6 5.3
43 移住・定住の推進 3.4 12 56.8 15.2 6.8 5.7
44 オーガニックなまちづくりの推進 3.3 11.7 58.8 14 6.6 5.6
45 協働によるまちづくりの推進 3 10.2 61.4 14.5 5.5 5.5
46 質の高い行財政運営の推進 2.8 10.2 59.1 15.8 6.6 5.6
47 広域行政の推進 3 10.2 61.2 14.7 5.3 5.6
48 DX推進に向けたICT活用の推進 2.2 10.1 57.7 17.2 6.5 6.2

## 今後の優先度

（n=899）


高い5
4
3
2
低い1
無回答
1 保健の充実 24.0 39.8 27.3 2.9 1.0 5.0
2 医療の充実 39.0 37.3 15.7 2.4 4.3
3 地域福祉の推進 21.1 35.2 31.7 4.3 2.6 1.2 5.1
4 高齢者支援の充実 26.1 35.4 26.4 4.4 3.1 4.6
5 障がい者支援の充実 20.6 30.6 36.2 4.2 3.1 5.3
6 防災対策の推進 38.8 33.9 18.1 2.7 5.3
7 消防・救急救助体制の充実 29.1 36.6 25.8 2.2 1.1 5.6
8 防犯体制の充実 37.5 33.1 20.4 2.1 0.7 6.0
9 交通安全対策の充実 32.4 31.1 26.4 3.2 0.9 5.8
10 消費者支援の充実 14.9 27.3 40.3 7.0 4.0 1.1 6.6
11 子育て支援の充実 28.9 29.5 27.7 3.9 7.6
12 学校教育の充実 26.6 30.0 29.6 3.6 2.4 7.6
13 青少年の健全育成 11.7 23.6 45.4 7.8 4.6 2.7 7.0
14 社会教育の充実 12.3 29.5 40.8 7.6 3.4 6.3
15 スポーツ・レクリエーションの充実 11.7 29.4 41.7 6.9 4.3 6.0
16 市民文化の充実 13.0 28.0 41.7 7.7 3.7 5.9
17 人権擁護の推進 10.8 23.0 47.2 6.9 5.8 6.3
18 男女共同参画の推進 11.3 23.5 45.4 7.2 6.0 6.6
19 企業誘致の推進 18.4 28.8 37.4 6.5 2.8 6.2
20 農業の振興 25.3 32.9 30.3 4.1 1.8 5.7
21 林業の振興 15.5 24.7 44.7 5.8 3.4 5.9
22 水産業の振興 21.4 30.9 34.4 4.6 2.9 5.9
23 商工業の振興 17.9 32.9 36.5 4.9 1.6 6.2
24 勤労者支援の充実 20.9 32.1 33.7 4.6 2.7 6.0
25 観光の振興 14.7 27.9 36.6 8.1 6.6 6.1
26 広域交流の推進 15.6 29.8 39.2 5.9 3.8 5.8
27 国際交流の推進 6.8 15.7 41.8 10.0 19.7 6.0
28 土地利用の適正化 15.2 28.8 39.0 7.5 3.7 5.8
29 市街地整備の充実 14.8 23.2 39.5 10.0 6.5 6.0
30 公園・緑地の充実 19.9 29.9 36.6 4.7 3.3 5.6
31 住環境の整備 20.9 31.0 35.0 4.1 3.2 5.7
32 良好な景観形成の推進 19.8 30.5 35.9 4.9 3.3 5.6
33 交通体系の充実 35.6 34.7 21.0 2.2 1.6 4.9
34 港湾機能の充実 14.6 27.8 42.0 6.2 4.1 5.2
35 上水道の充実 23.6 31.5 35.0 3.2 1.9 4.8
36 下水道の整備 26.3 30.6 33.3 2.7 2.0 5.2
37 資源循環の推進 22.7 29.9 36.8 3.7 2.1 4.8
38 生活衛生の向上 19.1 26.5 41.8 4.7 2.7 5.2
39 自然環境の保護 19.9 26.5 37.7 5.7 4.7 5.6
40 環境の保全 16.5 28.4 41.9 5.5 2.2 5.6
41 市民参加の推進 11.7 24.5 48.9 5.6 3.4 5.9
42 魅力発信の強化 12.7 27.9 42.3 7.3 3.7 6.1
43 移住・定住の推進 14.1 25.0 38.4 8.1 8.3 6.0
44 オーガニックなまちづくりの推進 11.3 22.4 45.1 7.6 7.5 6.2
45 協働によるまちづくりの推進 10.6 20.5 50.5 7.0 5.1 6.3
46 質の高い行財政運営の推進 18.2 26.0 41.6 5.7 2.2 6.2
47 広域行政の推進 16.6 26.0 43.3 5.7 2.3 6.1
48 DX推進に向けたICT活用の推進 15.5 24.8 42.0 7.8 3.0 6.9

## （２）現在の満足度と今後の優先度の加重平均による分析

木更津市の行政サービス48項目に関する現在の満足度と今後の優先度について、26～28ページに示したように５段階の評価を得たが、その結果を相対的に比較しやすくするため、それぞれの回答に得点としての重みを与え、その平均値を「加重平均値」として計算し、行政サービス間の順位を明らかにした。以下に「加重平均値」の計算方法を示す。

まず、それぞれの回答に以下のような得点を与えた。

現在の満足度では
「５」を＋２点、「４」を＋１点、「３」を０点、「２」を－１点、「低い　１」を－２点
今後の優先度では
「５」を＋２点、「４」を＋１点、「３」を０点、「２」を－１点、「低い　１」を－２点

次に、以下の計算式により現在の満足度、今後の優先度の加重平均値を求めた。

$$\text{現在の満足度加重平均値} = \frac{\text{「５」の回答者数}\times 2 + \text{「４」の回答者数}\times 1 + \text{「３」の回答者数}\times 0 + \text{「２」の回答者数}\times(-1) + \text{「１」の回答者数}\times(-2)}{\text{ｎ－（無回答者数）}}$$

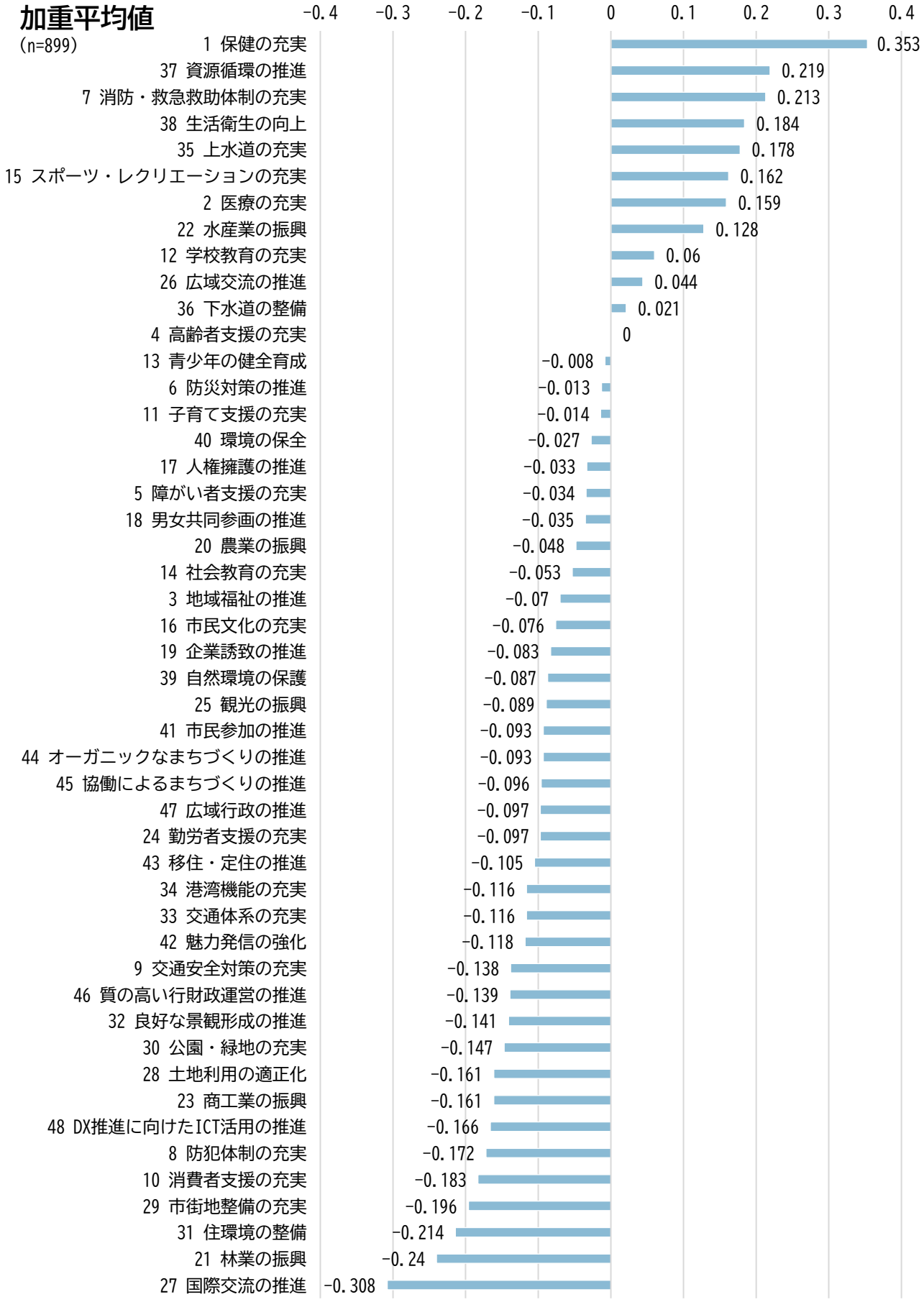
$$\text{今後の優先度加重平均値} = \frac{\text{「５」の回答者数}\times 2 + \text{「４」の回答者数}\times 1 + \text{「３」の回答者数}\times 0 + \text{「２」の回答者数}\times(-1) + \text{「１」の回答者数}\times(-2)}{\text{ｎ－（無回答者数）}}$$

加重平均値は最大値が＋２、最小値が－２となり、＋２に近づくほど現在の満足度、今後の優先度が高いことを示し、－２に近づくほど現在の満足度、今後の優先度が低いことを示す

現在の満足度の加重平均値は、「１　保健の充実」が0.353で最も高く、次いで「37 資源循環の推進」（0.219）、「７　消防・救急救助体制の充実」（0.213）、「38 生活衛生の向上」（0.184）、「35 上水道の充実」（0.178）の順となっている。
一方、「27 国際交流の推進」が-0.308で最も低く、「21 林業の振興」（-0.240）、「31 住環境の整備」（-0.214）、「31 市街地整備の充実」（-0.196）、「10 消費者支援の充実」（-0.183）、の順となっている。

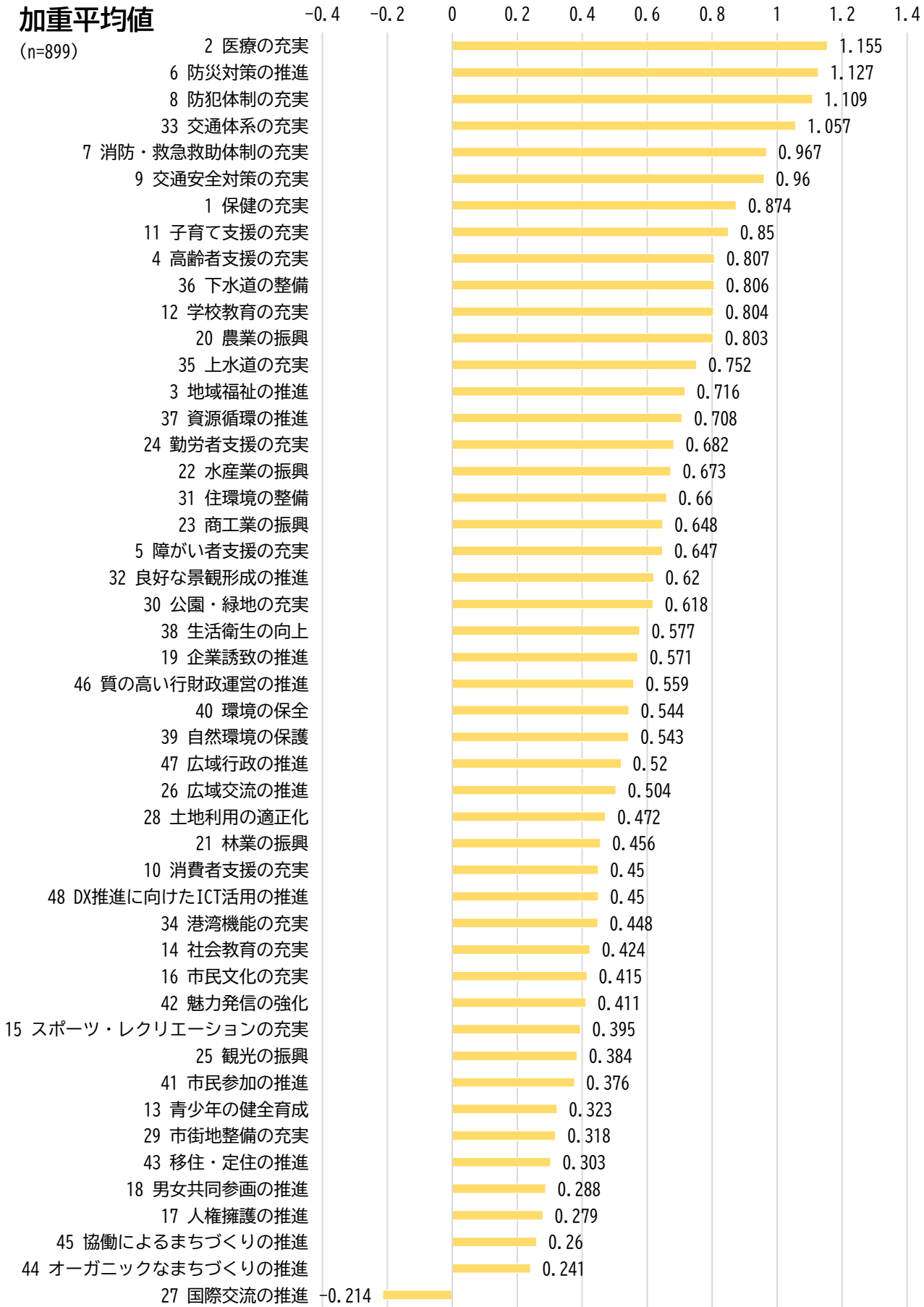
今後の優先度の加重平均値は、「２　医療の充実」が1.155で最も高く、次いで「６　防災対策の推進」（1.127）、「８　防犯体制の充実」（1.109）、「33 交通体系の充実」（1.057）、「７　消防・救急救助体制の充実」（0.967）の順となっている。
一方、「27 国際交流の推進」が-0.214で最も低く、次いで「44 オーガニックなまちづくりの推進」（0.241）、「45 協働によるまちづくりの推進」（0.260）、「17 人権擁護の推進」（0.279）、「18 男女共同参画の推進」（0.288）の順となっている。

## 現在の満足度
## 加重平均値

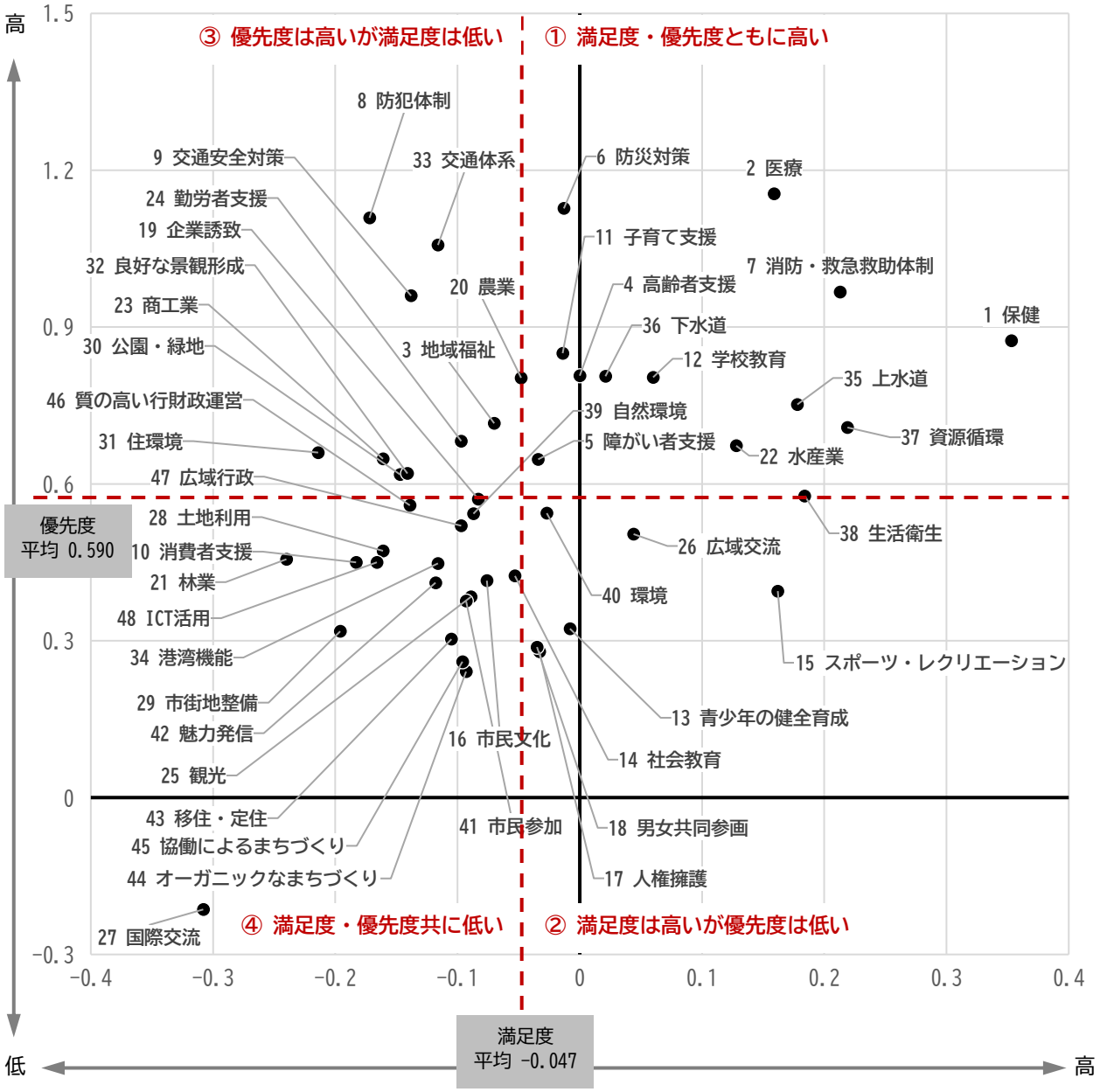


## 今後の優先度
## 加重平均値

(n=899)



## （3）現在の満足度と今後の優先度の相関




29～31ページで示した、木更津市の行政サービス48項目に関する現在の満足度と今後の優先度の加重平均値を、現在の満足度を横方向・今後の優先度を縦方向とし、相関関係を示した。

現在の満足度の加重平均値48項目の平均（-0.047）より高い項目を「満足度が高い」、低い項目を「満足度が低い」とした。また、今後の優先度の加重平均値48項目の平均（0.590）より高い項目を「優先度が高い」、低い項目を「優先度が低い」とし、これらを組み合わせて、以下の①～④に分類した。

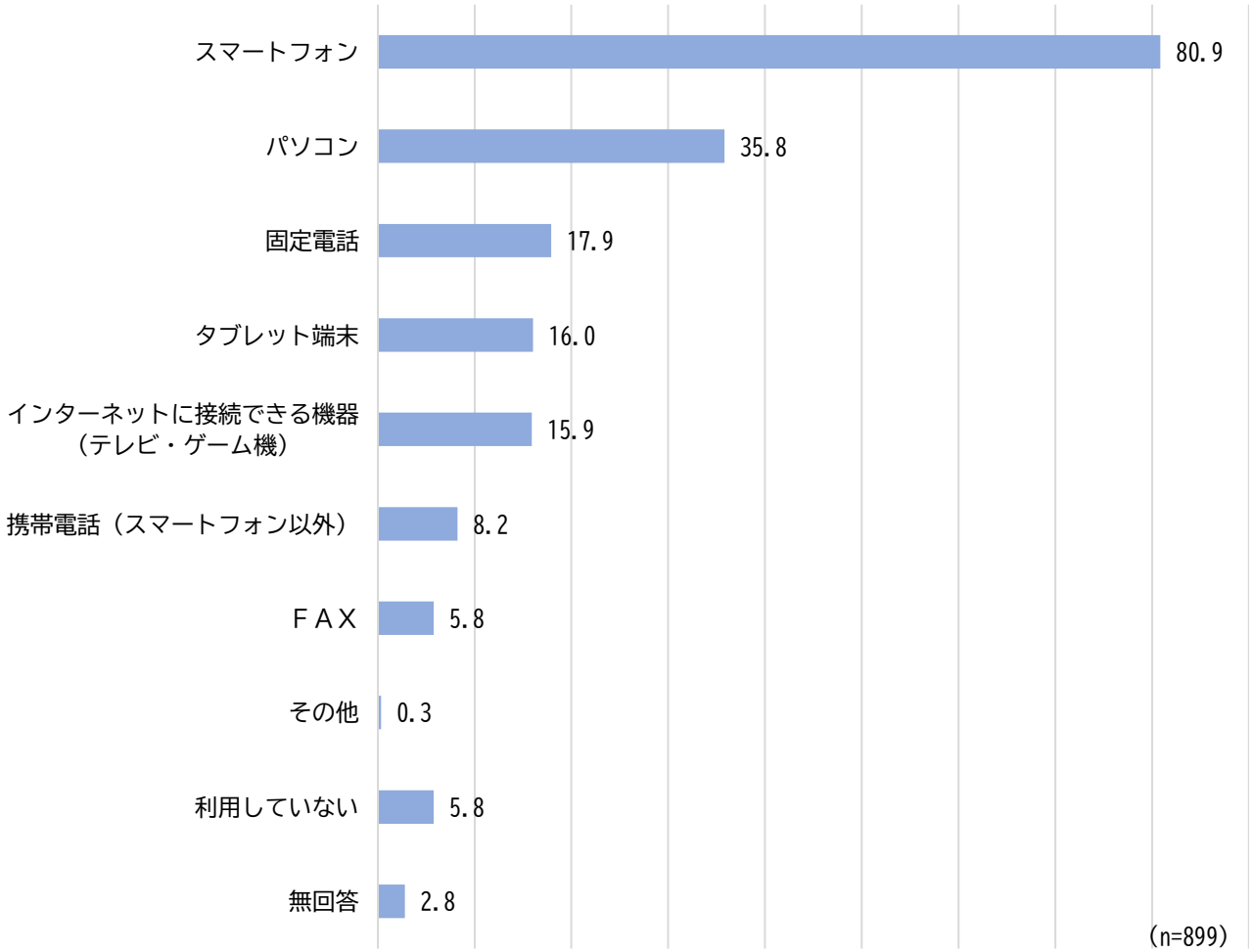
① 満足度・優先度ともに高い行政サービス　　１２項目
② 満足度は高いが優先度は低い行政サービス　　７項目
③ 優先度は高いが満足度は低い行政サービス　１０項目
④ 満足度・優先度ともに低い行政サービス　　１９項目

③の中でも「防犯体制の充実」、「交通体系の充実」、「交通安全対策の充実」の３項目は特に今後の優先度が高くなっていることから、重要施策になると考えられる。

# ５．木更津市の情報について

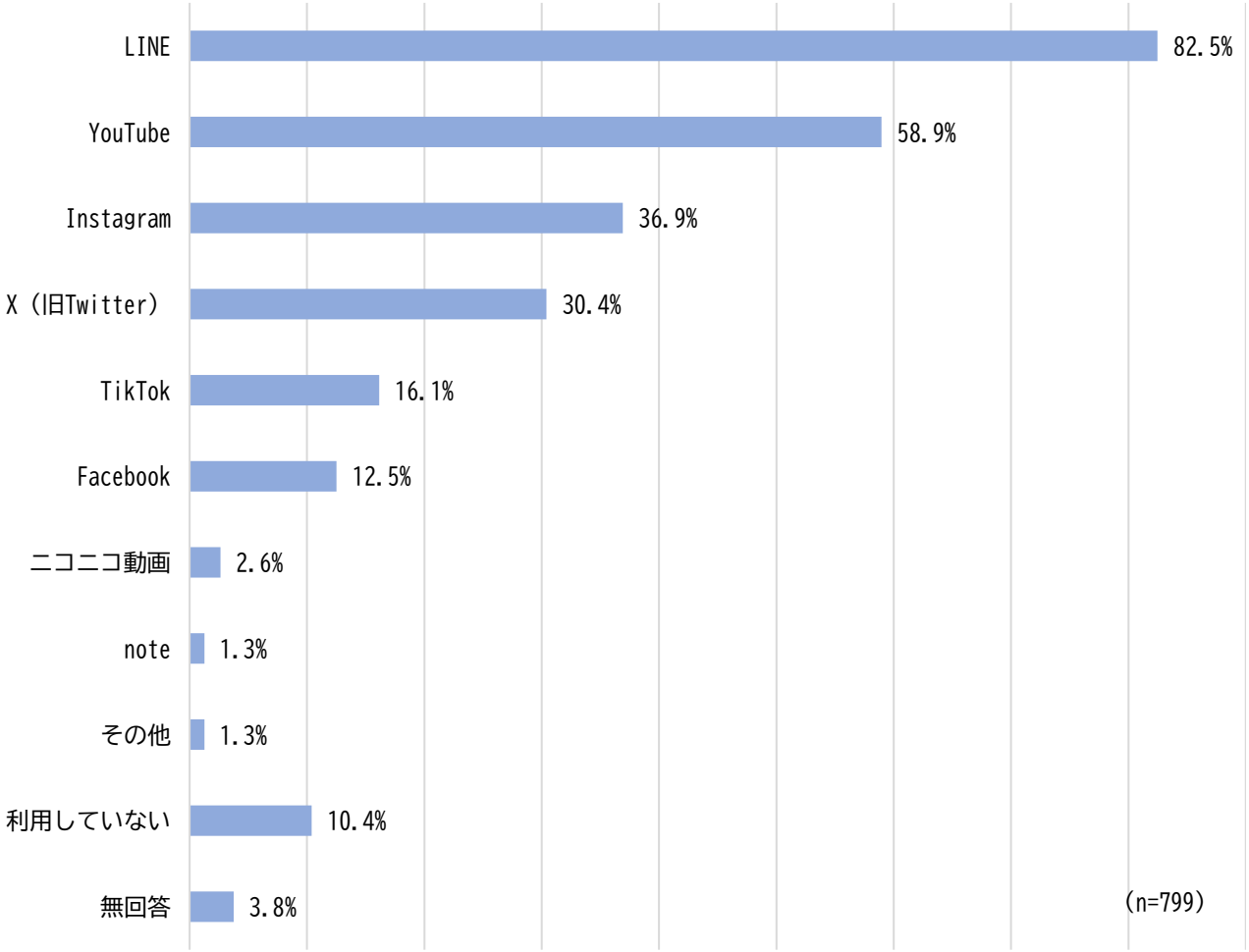
## （１）情報の入手方法

問16. あなたが普段利用している情報通信端末はどれですか。（当てはまるものすべてに✔）




普段利用する情報通信端末については、「スマートフォン」が80.9%で最も高く、次いで「パソコン」（35.8%）、「固定電話」（17.9%）の順となっている。

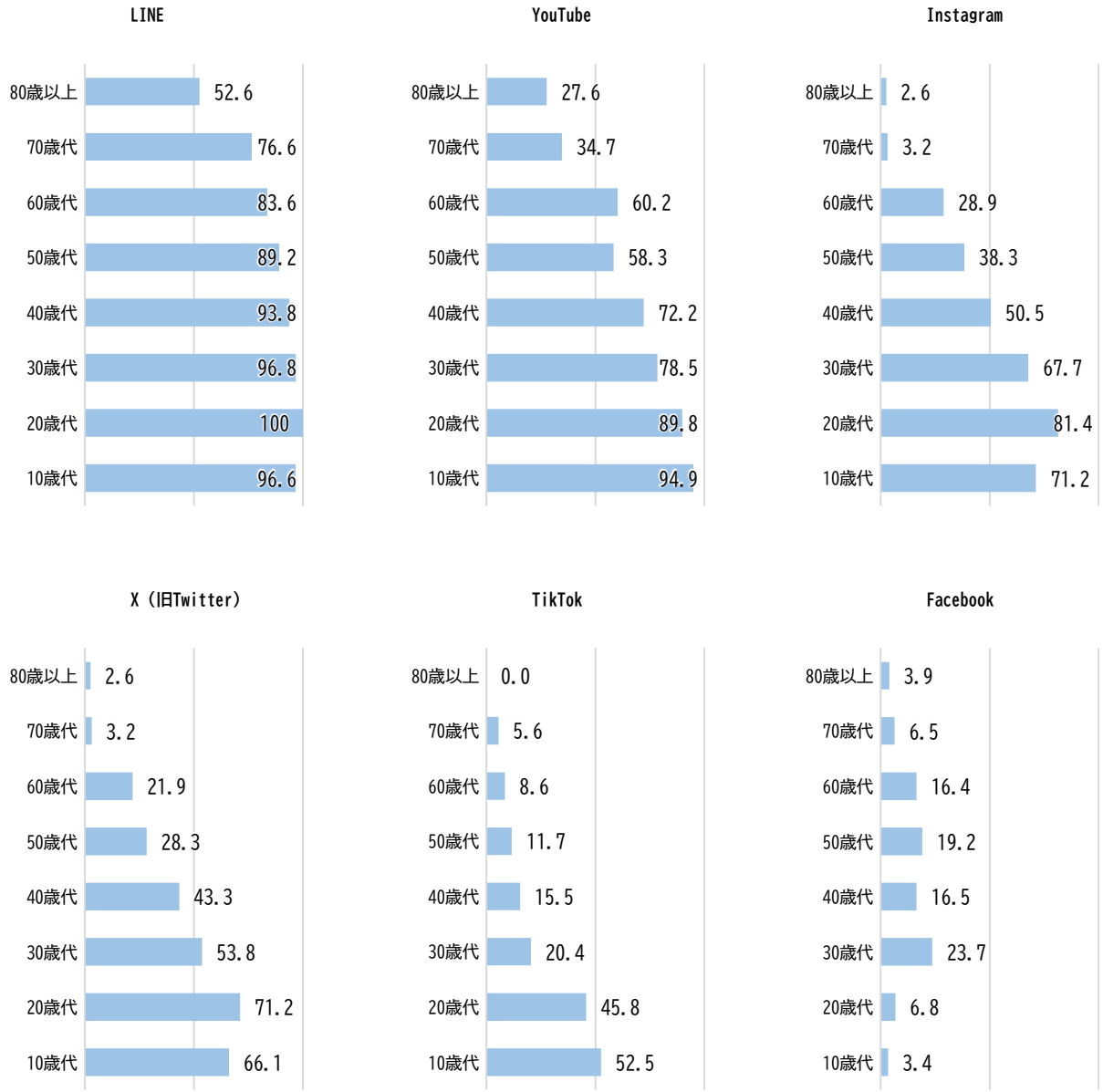
問16-2. 問16で点線内※を選んだ方に、お聞きします。SNSを利用していますか。
（当てはまるものすべてに✔）




SNSの利用状況については、「LINE」が82.4%で最も高く、次いで「YouTube」(58.9%)、「Instagram」(36.9%)、「X（旧Twitter）」（30.4%）、「TikTok」（16.1%）の順となっている。

※「スマートフォン」「携帯電話（スマートフォン以外）」「パソコン」「タブレット端末」「インターネットに接続できる機器（テレビ・ゲーム機）」が該当する。

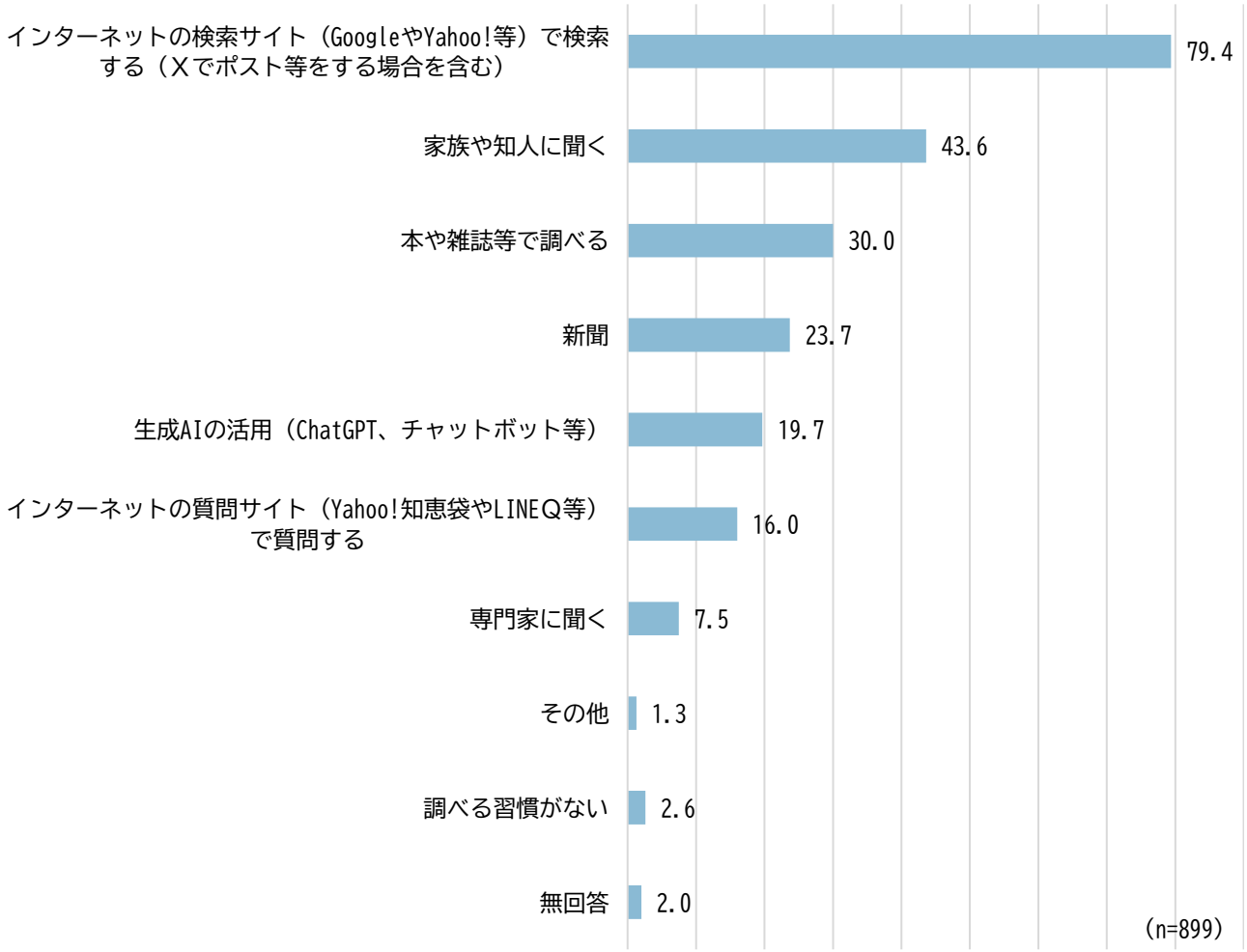
［年齢別］上位６項目




年齢別でみると、「YouTube」と「TikTok」は10歳代が最も高くなっている。「LINE」「Instagram」「X（旧Twitter）」は20歳代が最も高くなっている。「Facebook」は30歳代が最も高くなっている。

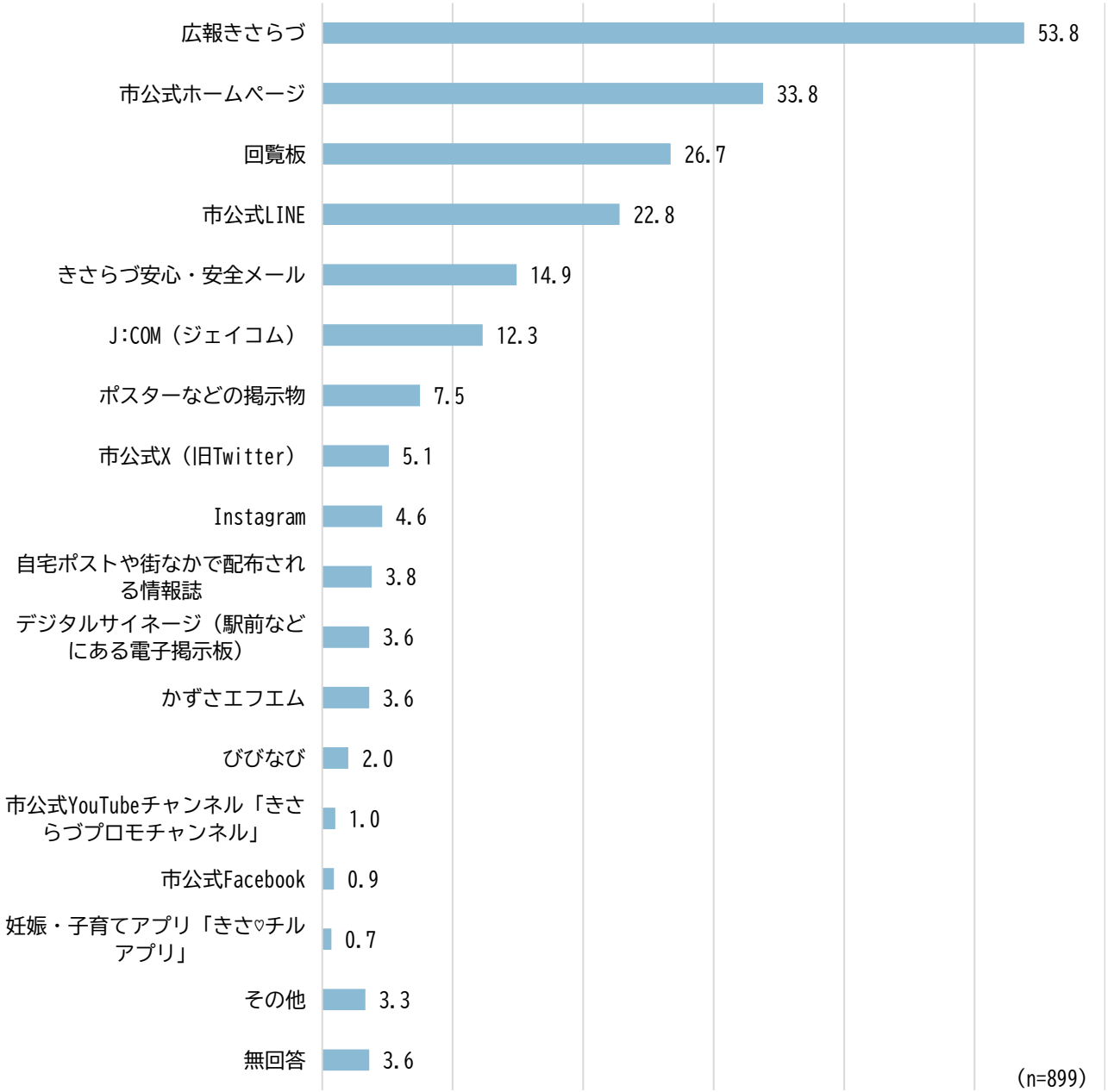
70歳代・80歳以上は、「Instagram」「X（旧Twitter）」「TikTok」について、それぞれ合計しても10％未満と低くなっている。

問17. あなたは何かを調べるとき、どのような方法で調べますか。(当てはまるものすべてに✔)



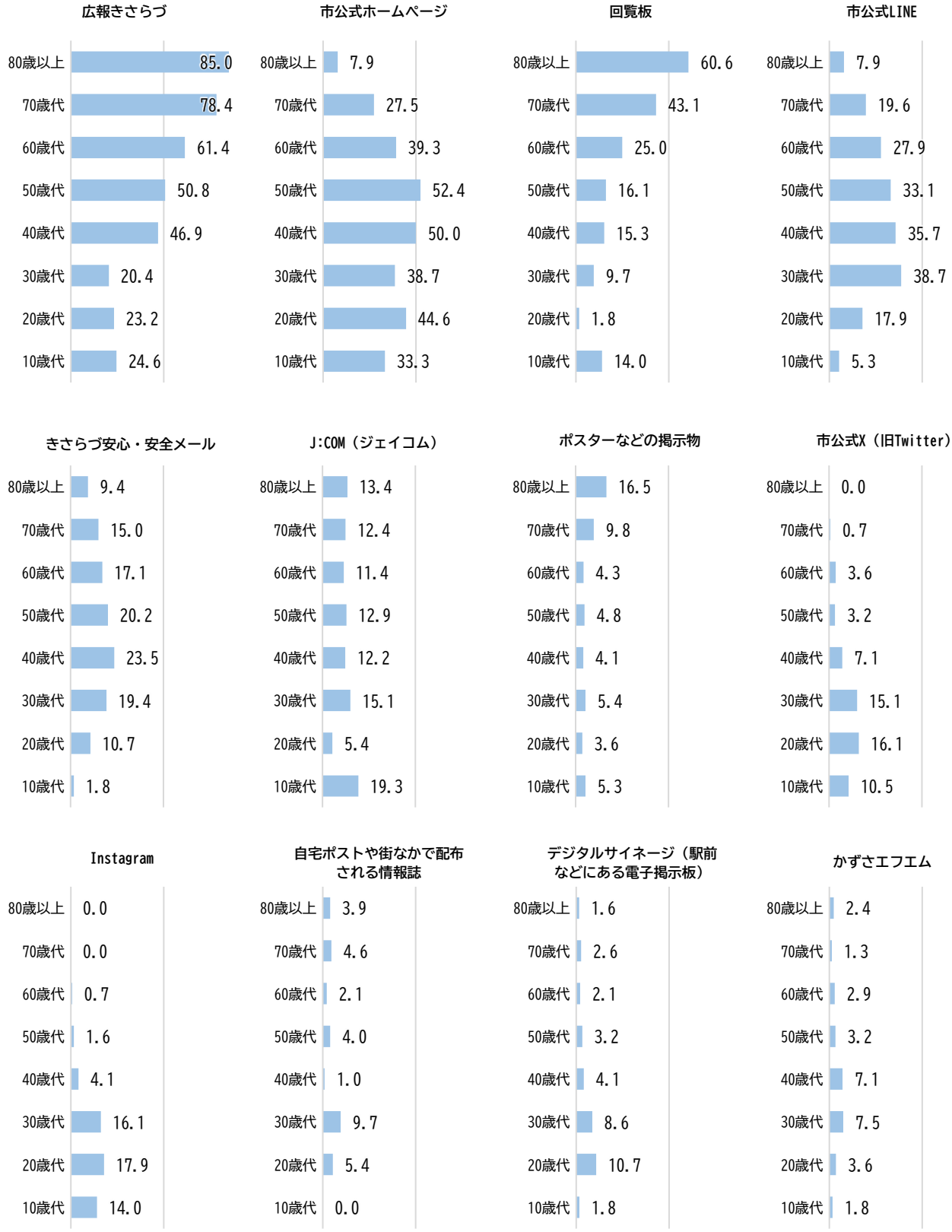

何かを調べる方法については、「インターネットの検索サイト（GoogleやYahoo!等）で検索する（Xでポスト等をする場合を含む）」が79.4%で最も高く、次いで「家族や知人に聞く」(43.6%)、「本や雑誌等で調べる」（30.0%）、「新聞」（23.7%）の順となっている。

問18. あなたは普段、木更津市に関する情報をどのような方法で得ていますか。
（当てはまるものすべてに✔）



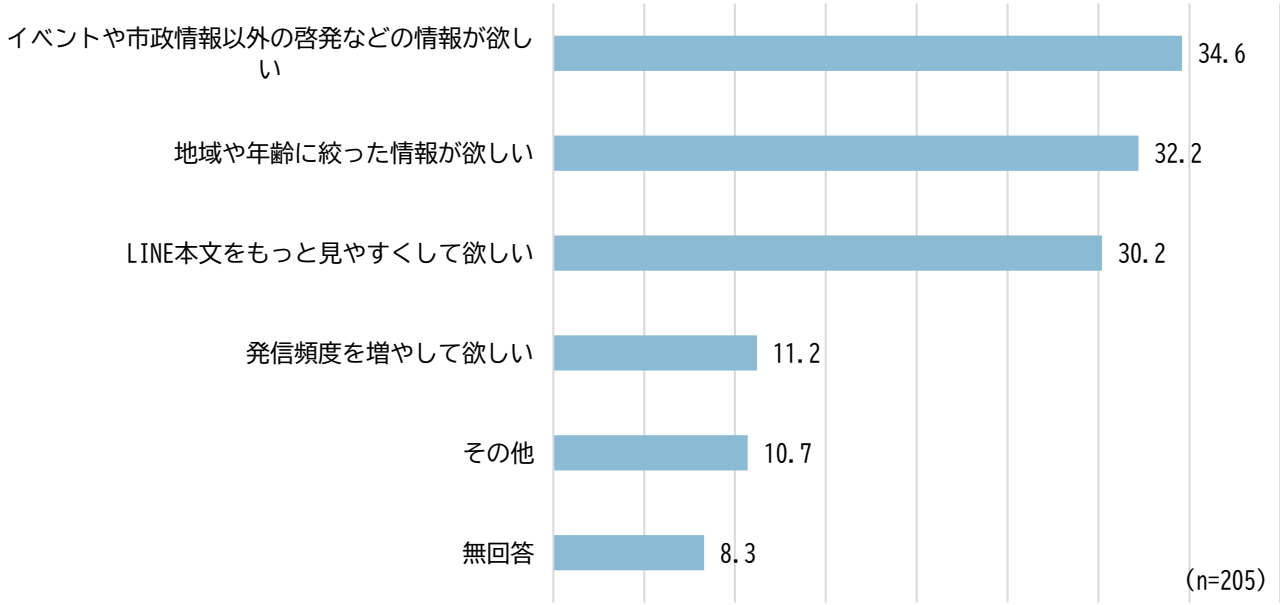

木更津市に関する情報の入手方法については、「広報きさらづ」が53.8%で最も高く、次いで「市公式ホームページ」（33.8%）、「回覧板」（26.7%）、「市公式LINE」（22.8%）の順となっている。

［年齢別］上位12項目




年齢別でみると、「広報きさらづ」、「回覧板」「ポスターなどの掲示物」は70歳代・80歳以上が高くなっている。「市公式ホームページ」は50歳代、「市公式LINE」は30歳代が最も高くなっている。「市公式X（旧Twitter）」「Instagram」は20歳代が最も高くなっているが、70歳代・80歳以上は低い。

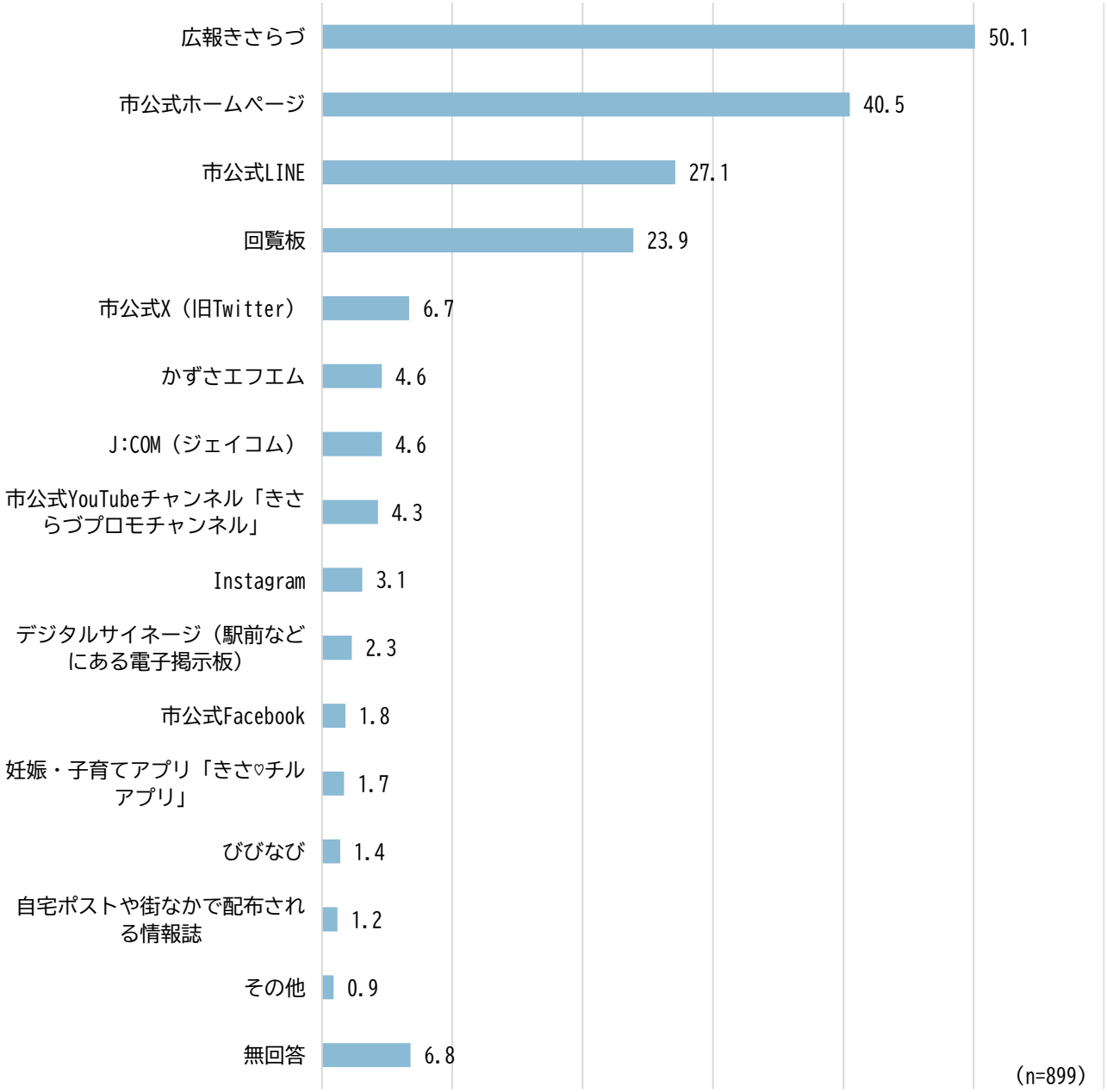
問18-2. 問18で「市公式LINE」を選んだ方に、お聞きします。
市公式LINEの配信について望むことがあれば教えてください。（✔は2つまで）




市公式LINEへの希望については、「イベントや市政情報以外の啓発などの情報が欲しい」が34.6%で最も高く、次いで「地域や年齢に絞った情報が欲しい」（32.2%）、「LINE本文をもっと見やすくして欲しい」（30.2%）、「発信頻度を増やして欲しい」（11.2%）の順となっている。

## （２）木更津市に関する情報発信をより充実してほしい媒体

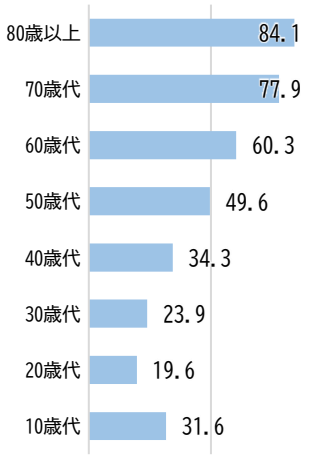
問19. 木更津市に関する情報を発信する媒体について、次の中から情報をより充実してほしいものは何ですか（✔は3つまで）



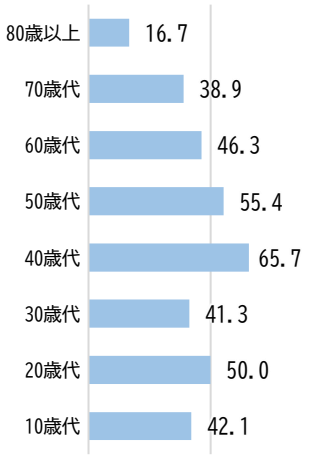

木更津市に関する情報発信をより充実してほしい媒体については、「広報きさらづ」が50.1%で最も高く、次いで「市公式ホームページ」(40.5%)、「市公式LINE」(27.1%)、「回覧板」(23.9%)の順となっている。

「年齢別」上位１２項目

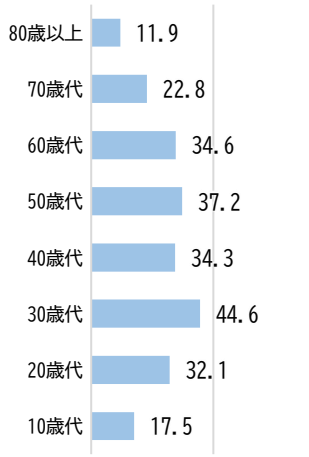
広報きさらづ



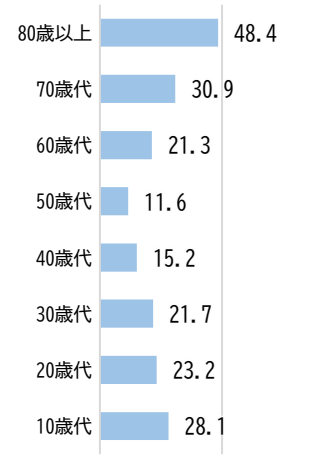

市公式ホームページ



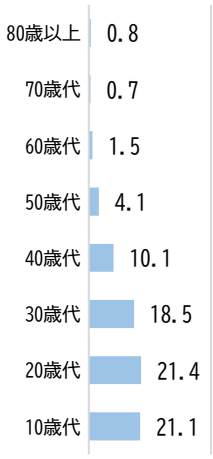

市公式LINE



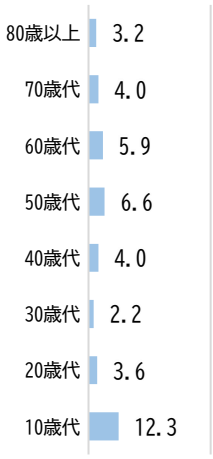

回覧板



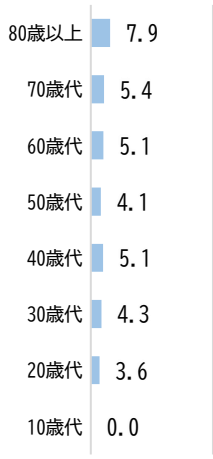

市公式Facebook



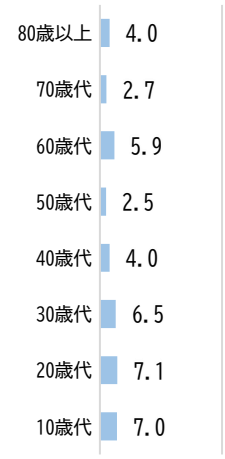

かずさエフエム



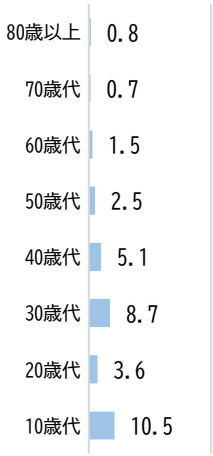

J:COM（ジェイコム）



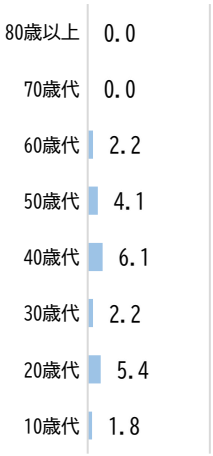

市公式YouTubeチャンネル「きさらづプロモチャンネル」



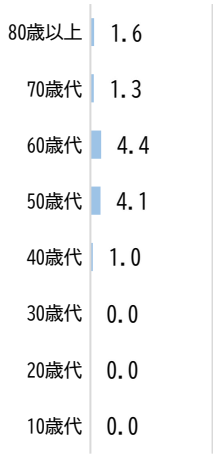

Instagram



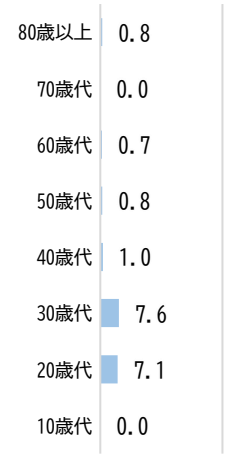

デジタルサイネージ（駅前などにある電子掲示板）




Instagram



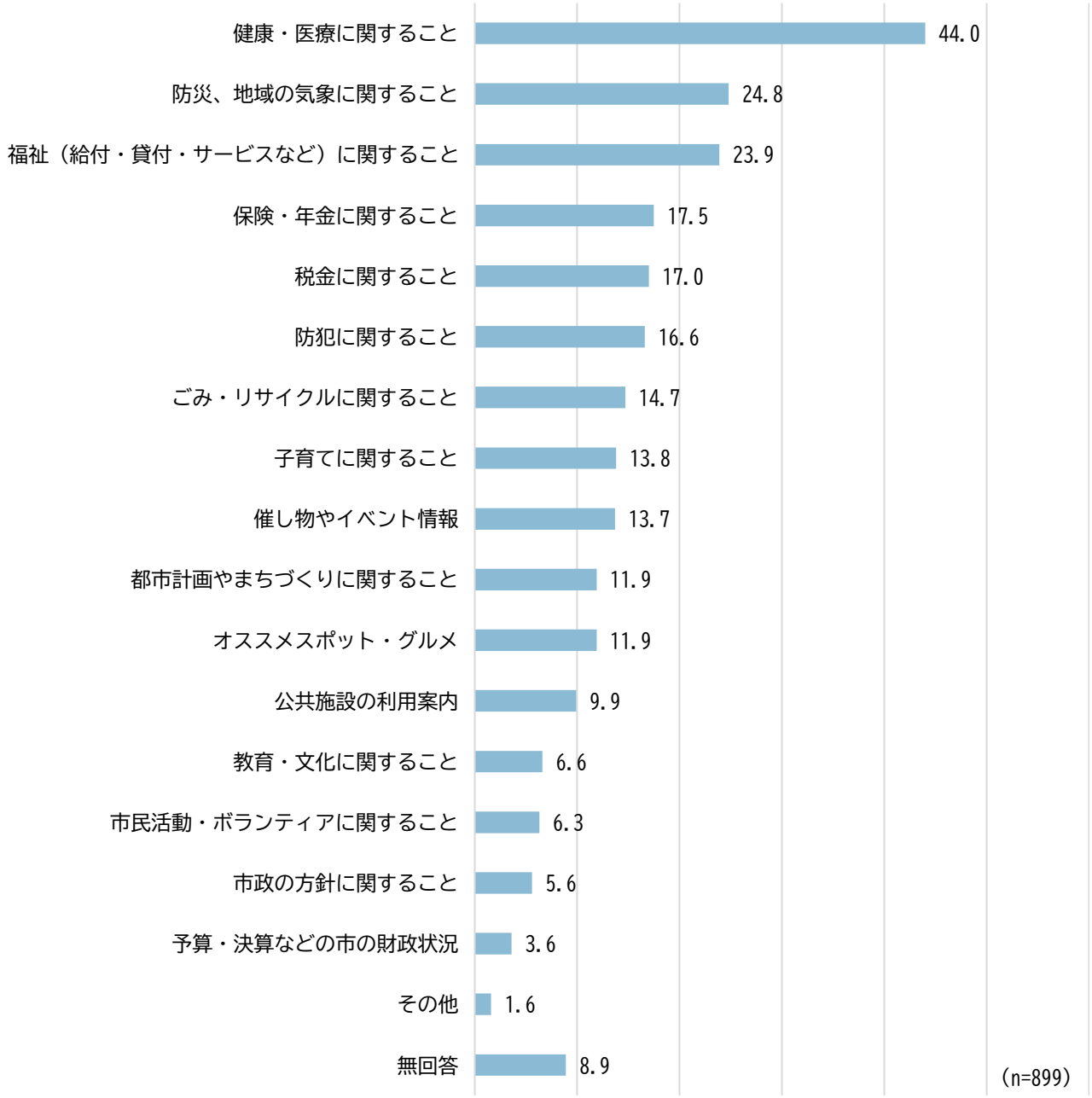

妊娠・子育てアプリ「きさ♡チルアプリ」




年齢別でみると、「広報きさらづ」「回覧板」は70歳代・80歳以上が高くなっている。「市公式ホームページ」は40歳代、「市公式LINE」は30歳代が最も高くなっている。「かずさエフエム」「Instagram」は10歳代が最も高くなっている。「市公式X（旧Twitter）」「市公式YouTubeチャンネル」は20歳代が最も高くなっている。

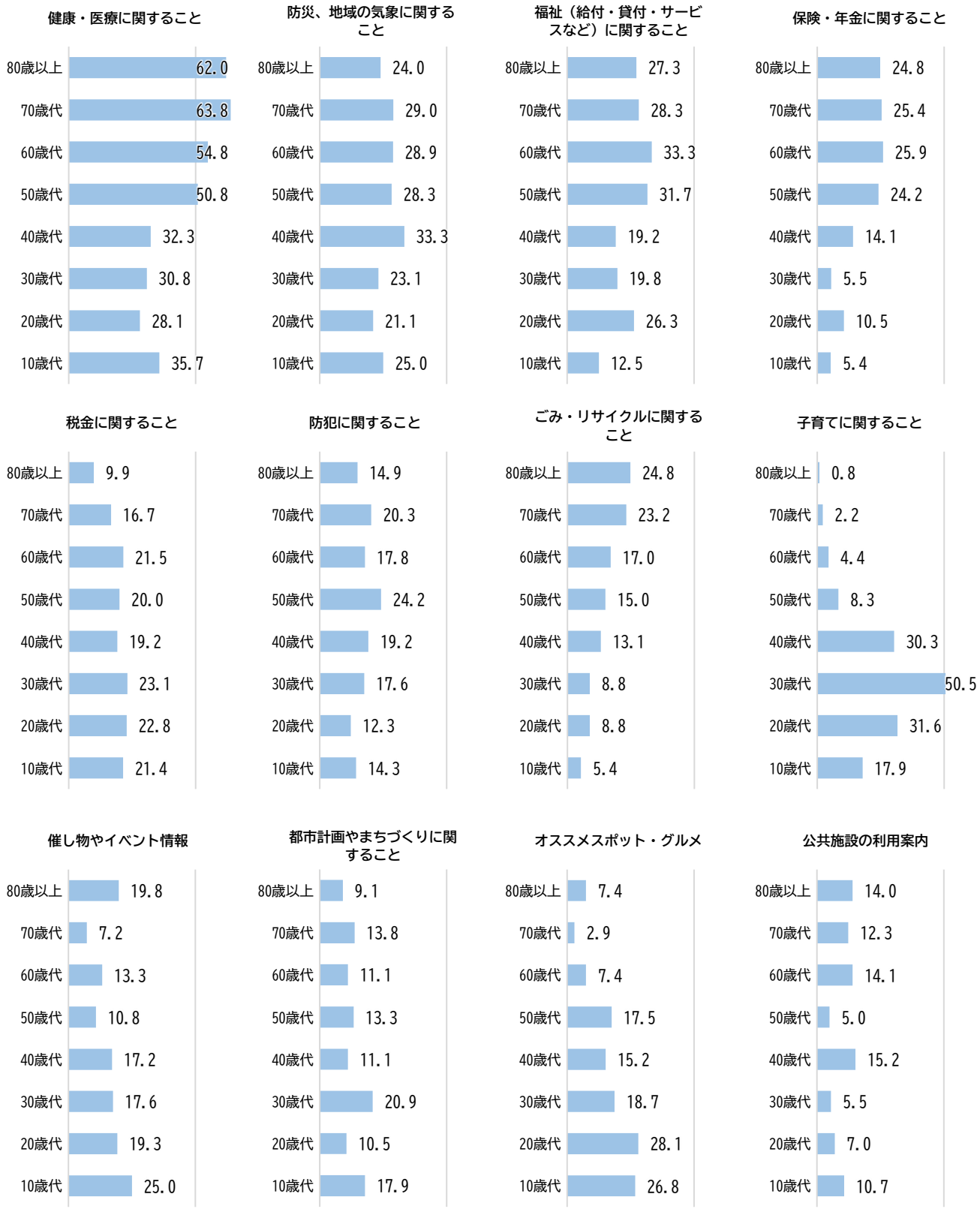
## （3）木更津市に関する情報でより充実してほしい内容

問20.木更津市に関する情報で、より充実して発信してほしい情報は何ですか。(✔は3つまで)




木更津市に関する情報で知りたいことについては、「健康・医療に関すること」が44.0%で最も高く、次いで「防災、地域の気象に関すること」（24.8%）、「福祉（給付、貸付、サービスなど）に関すること」(23.9%)、「保険・年金に関すること」(17.5%)、「税金に関すること」(17.0%)の順となっている。

［年齢別］（上位12項目）




年齢別でみると、「健康・医療に関すること」は70歳以上が高くなっている。「福祉（給付・貸付・サービスなど）に関すること」、「保険・年金に関すること」は60歳代が最も高くなっている。「子育てに関することは」40歳代が最も高くなっている。「催し物やイベント情報」「オススメスポット・グルメ」は10歳代・20歳代が高くなっている。

# Ⅲ．調査結果の概要と考察

## １．木更津市へのイメージについて

- 木更津市に対する愛着や誇りについては、「持っている」または「少しは持っている」と答えた方は82.4％で、その理由の上位３項目としては、「都心、東京湾岸の各都市にアクセスしやすい交通利便性」(72.3％)、「木更津港まつり、こどもまつりなどの地域のにぎわい」(36.2％)、「農産物や地元の特産品」（30.1％）である。
- 木更津市の住みごこちについては、「満足している」または「おおむね満足している」と回答した方は78.4％であった。一方で、「やや不満である」または「不満である」と回答した方は20.7％であった。
- 住んでいて良いところについては、「住み慣れていて愛着がある」が61.2％と最も高く、一方で、住んでいて良くないところについては、「交通の便」が28.9％と最も高くなっている。
- 定住意向については、「ずっと住み続けたい」または「当分は住んでいたい」と答えた方は77.5％であった。一方、「やがては転出したい」または「転出するつもり」と答えた方は6.6％であった。

## ２．木更津市の取り組みについて

### （１）「オーガニックなまちづくり」について

- 「オーガニックなまちづくり」の認知度について、前回調査（Ｒ６）との比較では、「聞いたことはあるが、よく分からない」が1.2ポイント、「理解している」が0.3ポイント増加している一方、「はじめて聞いた」が2.1ポイント減少しており、施策認知度はやや向上している。
- 「はじめて聞いた」は20歳代が59.3％、居住期間が３年未満の方が59.1％、居住期間が３～５年の方が47.6％と高くなっていることから、若年層や転入者に対する広報活動を積極的に推進し、市民の施策認知度を高めていく必要があると考えられる。
- 「ＳＤＧｓ」の認知度について、「内容まで知っている」が33.9％、「ＳＤＧｓという言葉を聞いたことがある、またはロゴを見たことがある」が46.2％となり、広く周知されてきている一方で、行動については、「意識はするが、特に行動はしていない」が27.4％、「意識もしていないし、特に行動もしていない」が29.9％と、半数以上が行動していないため、行動に移すきっかけが必要と考えられる。

### （２）市民活動について

- 市民活動の参加状況については、「参加しておらず、今後も参加するつもりはない」が最も高く37.7％となっている。
- 市民活動に参加している方の割合としては、60歳代が最も高くなっている。また「機会や時間がないので参加していないが、参加してみたいとは思う」は10歳代が47.5％、20歳代が45.8％と高くなっているため、若年層に対して市民活動に参加する機会を増やす取組や情報提供を積極的に進める必要があると考えられる。

### （３）運動・スポーツについて

- 運動について、「週に５日以上」「週に３日以上」「週に２日以上」「週に１日以上」と答えた方の合計は61.8％となっており、週１日以上は運動している方が半数以上を占めている。特に、10歳代（27.1％）、60歳代（21.0％）、70歳代（20.6％）は「週に５日以上」が高くなっている。

- スポーツを推進するための市の取組としては、「スポーツ施設・設備の充実」が64.3%と最も高く、ハード面の整備が期待されている。

（4）キャッシュレス決済について

- 普段利用するキャッシュレス決済については、「クレジットカード」が65.6%と最も多く、半数以上の方が利用している結果となった。

（5）デジタル化について

- デジタル化に期待する取組として、「インターネット上で申請や届出ができる」が48.9%と最も高くなっている。次いで「災害時等でも遠隔で河川や道路の状況を確認できる」（37.5%）、「高齢者や子どもの見守りサービス」（37.3%）、「行政情報や緊急情報が必要な時にスマートフォンに配信される」（36.7%）の順となっており、デジタル化により安心・安全に関連する情報収集ができることが期待されている。

## 3．行政サービスに関する満足度、今後の優先度について

- 木更津市の行政サービス48項目に関する現在の満足度と今後の優先度の相関関係をみると、「優先度は高いが満足度は低い」に分類された行政サービスについて、特に優先度が高い項目として、「防犯体制の充実」、「交通体系の充実」、「交通安全対策の充実」の３項目があげられる。市民満足度の向上を図るためには、これらの施策の重点的な取組が必要であると考えられる。

## 4．木更津市の情報について

- 木更津市に関する情報の入手方法とより充実してほしい発信媒体については、前回調査（Ｒ６）と同様に、「広報きさらづ」と「市公式ホームページ」が高くなっている。
- 前回調査（Ｒ６）より、新たに選択肢に追加した「市公式LINE」については、情報の入手方法では４番目（22.8%）、より充実してほしい発信媒体では３番目（27.1%）となっている。また、SNSの利用状況について、「Instagram」「X（旧Twitter）」「TikTok」など70歳以上の方がほとんど使用していないサービスがある中で、「LINE」は70歳代が61.3%、80歳以上が33.1%利用されている。
- 引き続き、「広報きさらづ」と「市公式ホームページ」を充実させるとともに、今後は「市公式LINE」の充実が求められているものと考えられる。
- より充実して発信してほしい情報の上位５項目は、「健康・医療に関すること」（44.0%）、「防災、地域の気象に関すること」（24.8%）、「福祉（給付・貸付・サービスなど）に関すること」（23.7%）、「保険・年金に関すること」（17.5%）、「税金に関すること」となっており、社会保障や安心安全など暮らしに関する情報の充実が求められている。
- 年齢別でみると、上記社会保障に関することは60歳以上が高くなっている。一方で、「催し物やイベント」「オススメスポット・グルメ」については、10歳代と20歳代が高くなっている。
- 市公式LINEの配信についての希望では、「イベントや市政情報以外の啓発などの情報が欲しい」（34.6%）、「地域や年齢に絞った情報が欲しい」（32.2%）、「LINE本文をもっと見やすくしてほしい」（30.2%）と上位３項目の割合が近く、情報の内容や対象とする利用者層など、より多角的な観点を踏まえて情報を発信することが求められているものと考えられる。

# 魅力あるまちづくりに関する市民アンケート

# 報　告　書

令和　年　月

木更津市企画部企画課

千葉県木更津市富士見一丁目２番１号
電　話（０４３８）２３－７４６８
ＦＡＸ（０４３８）２３－９３３８
メール kikaku@city.kisarazu.lg.jp